



Rogue Spear

ローグスピーア

はあ……

はあ……

ハア

ハア

まあね

はあ……

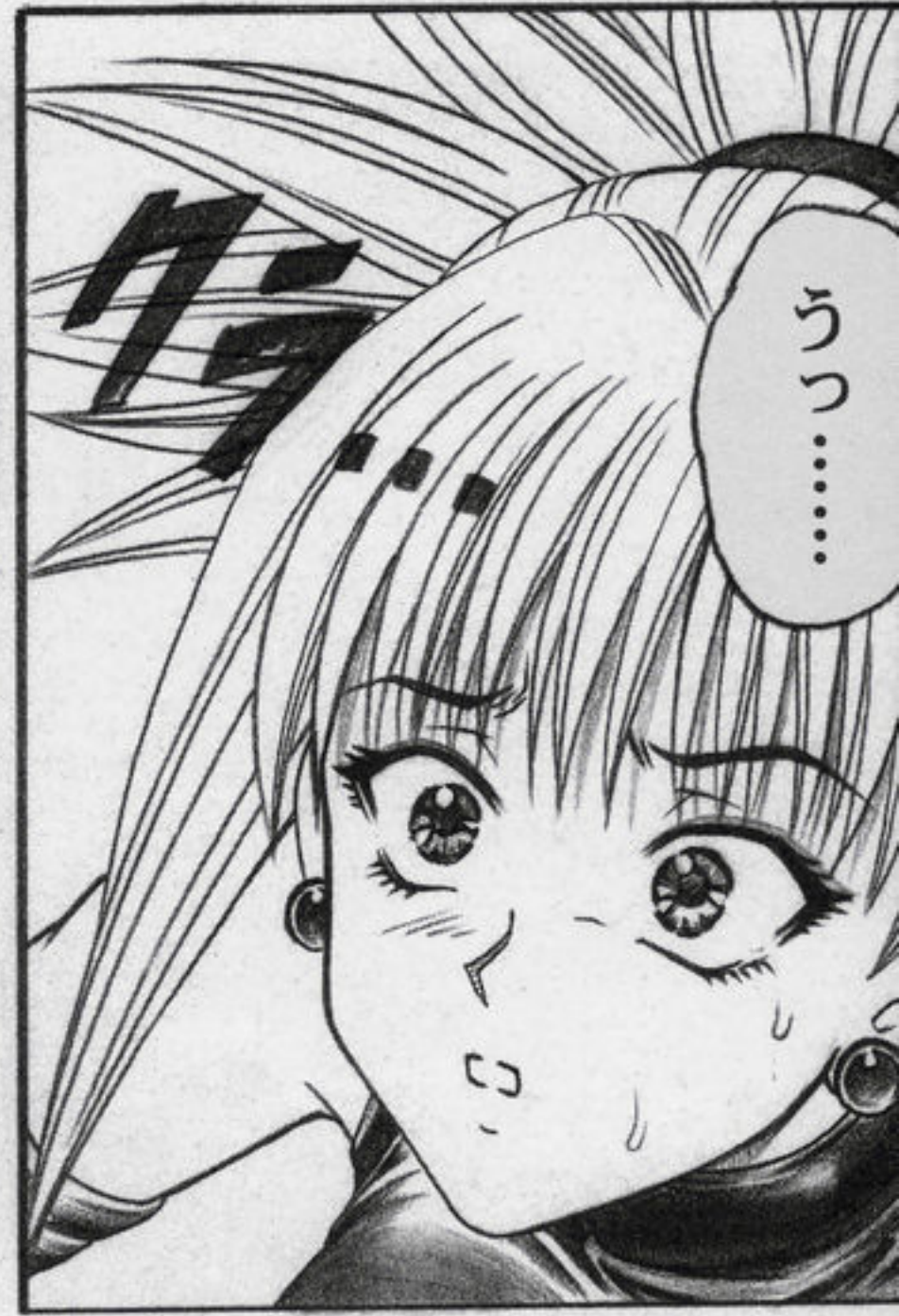
ガラ……

今日の
魔石回収は……
ちよつと手ごわ
かったから

大丈夫で
やんすか？
……アイミ

足元が
ふらついて
るでやんすよ





うっ……



ごめん
デモ……

やっぱ……
身体キツイわ

少し休むから
先に魔石を
持って
家に帰ってて
くんない



分かったで
やんす

それじゃあ
あっしは先に
失礼して

……うん
またあとで



ふう……

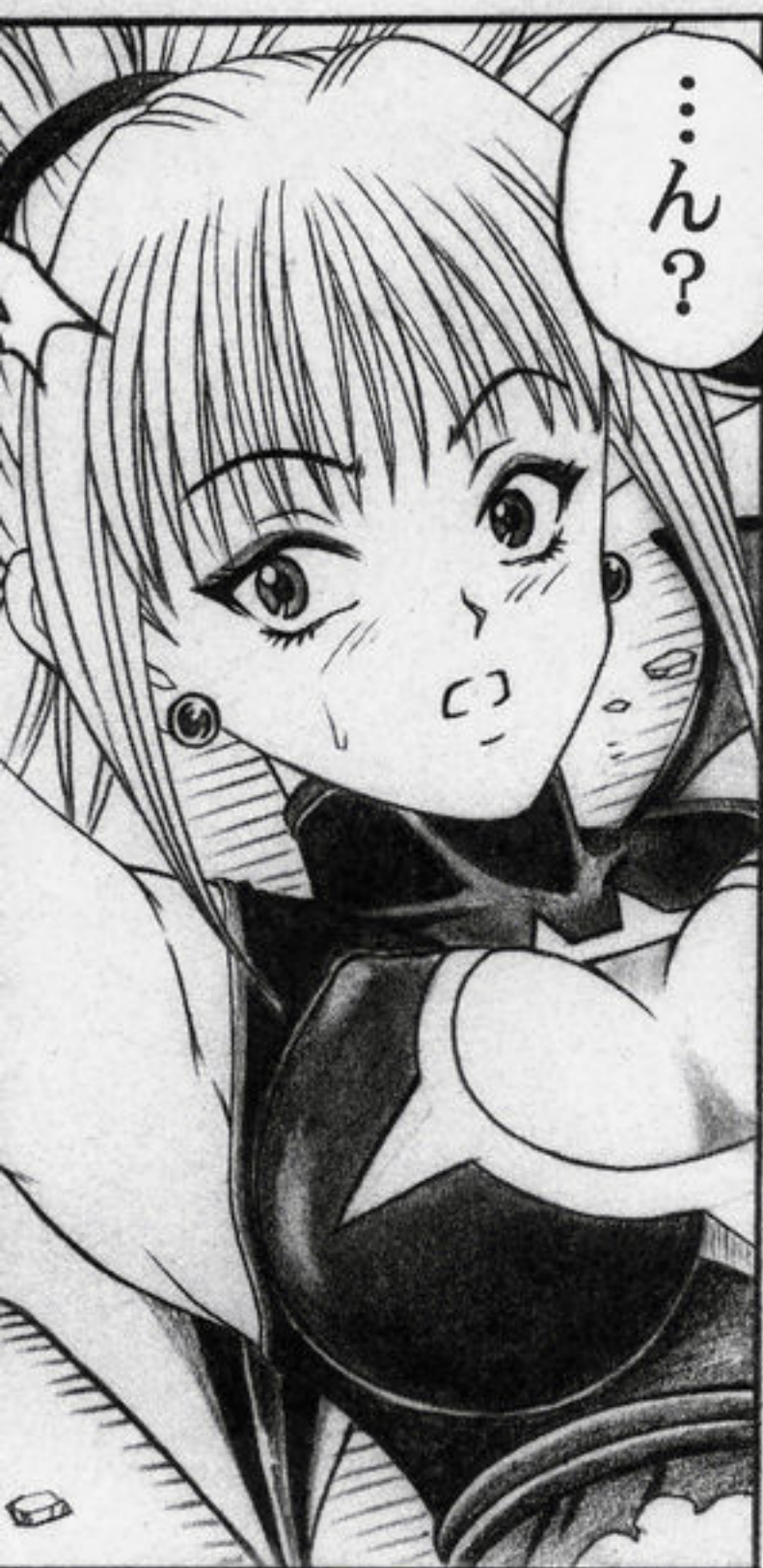
パッ……



……あーもう
へっトへト

さすがの私も
気力体力
からっぽだわ

まったくホント
割りに合わない
役目よねえ



……ん？

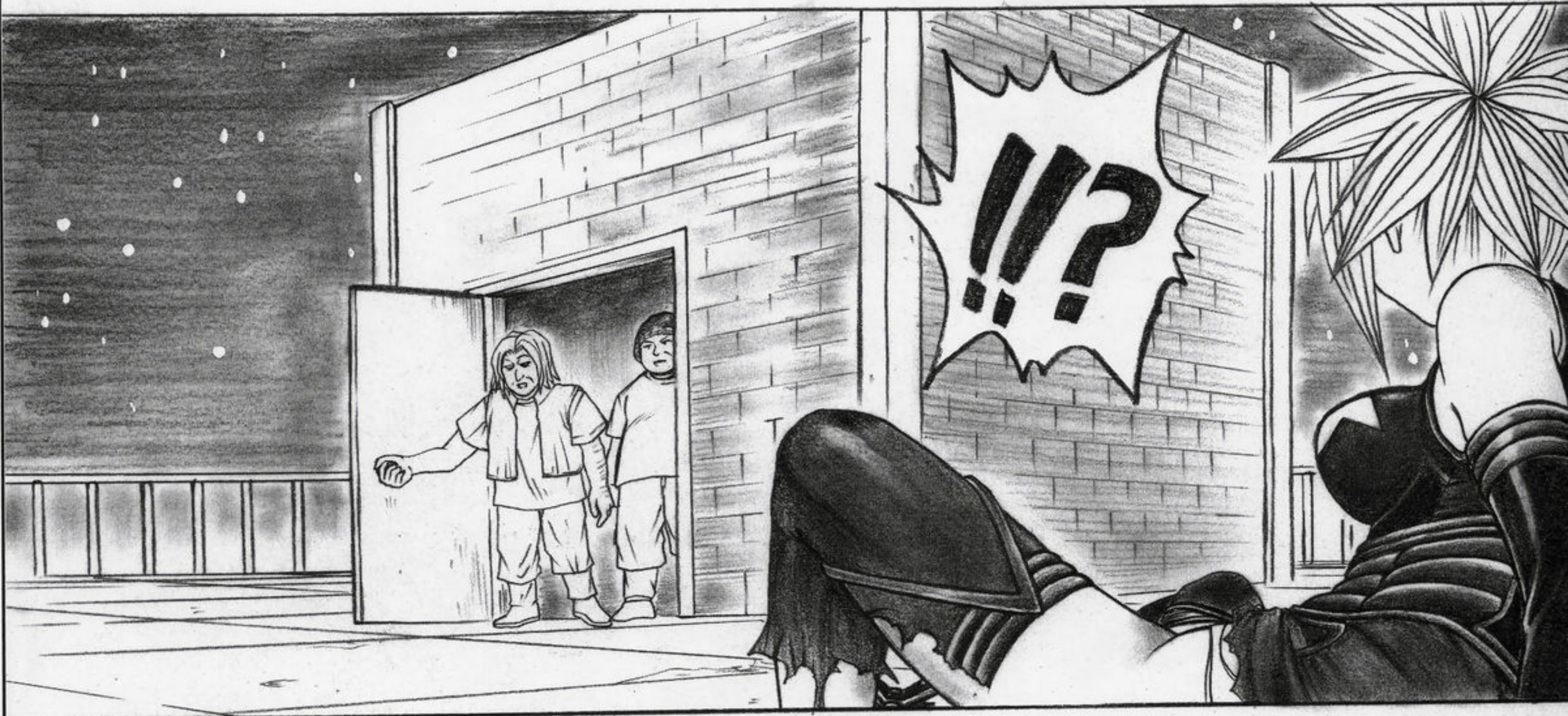


こんなに苦労
してるってのに
町の連中は私を
悪人扱いするし

とつとと魔石なんか
魔の国に戻して
前みたい楽しく
やりた……

グッ

グッ

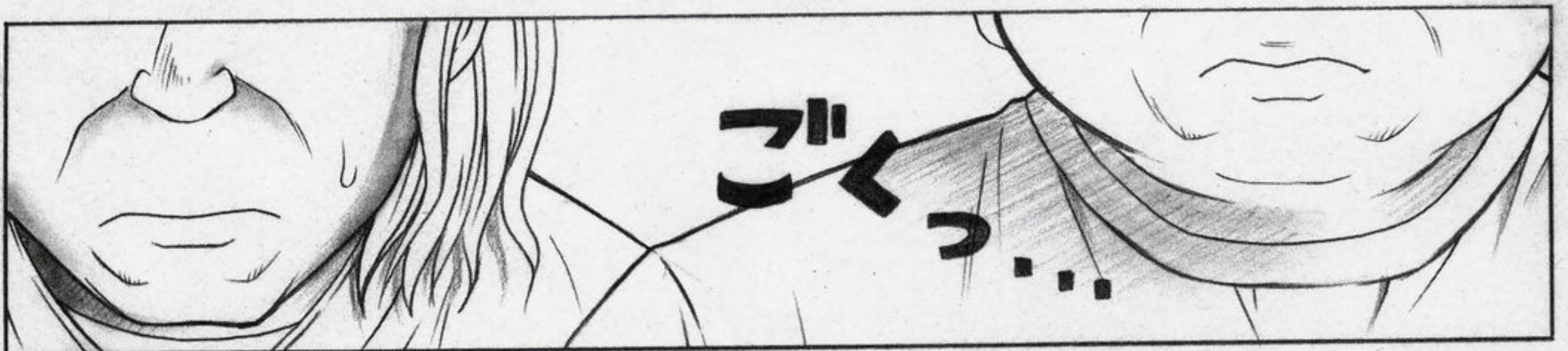


は…

はあ〜い

な…何か
ご用かしら〜

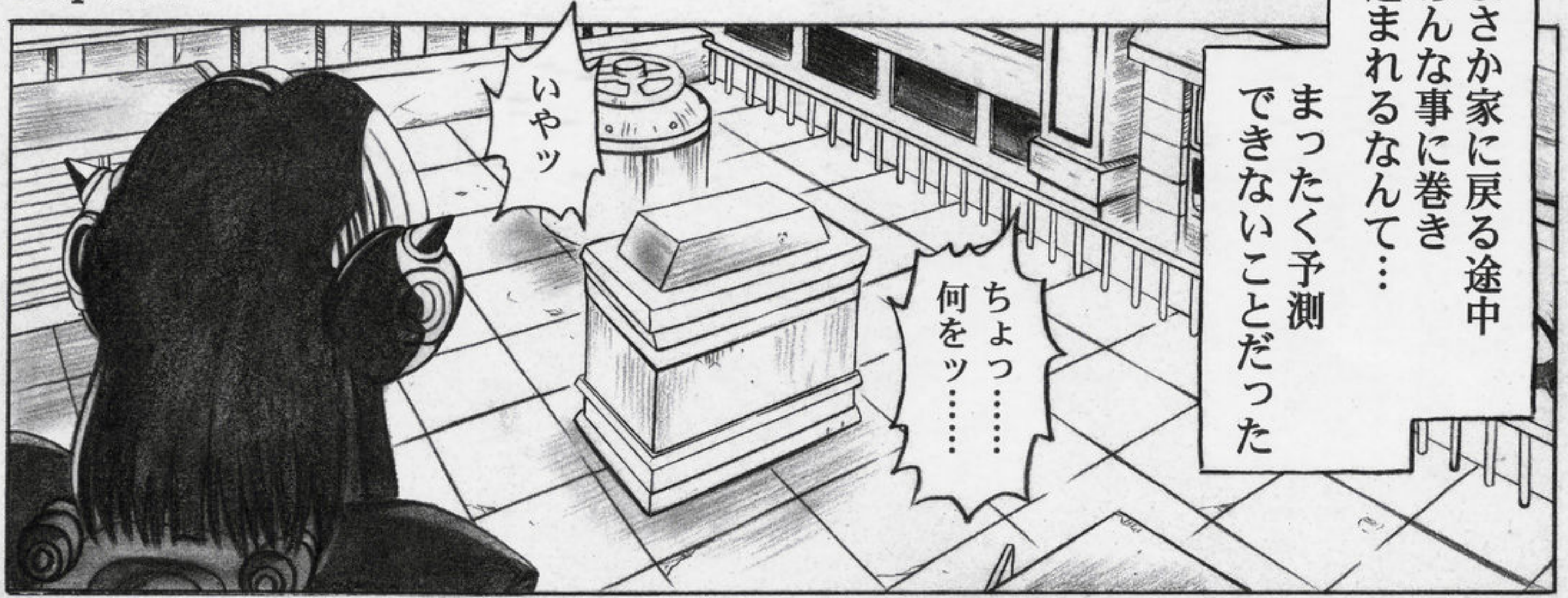




魔石の回収を
無事に終えた
私だったけど...

あの日の夜……

chapter 1





ぐっ……

それにしても
この女……
どこかで見た事
ねーか？
新聞とかだよ

さあ……おれ
新聞読まねえし
知らねーな

魔石の封印をする
過程で消耗しきった
私の身体には
全然力が残されておらず……

いつもなら軽く
振りほどける男の腕も
びくともしない



どれどれ

そうして無力な私は
男の為すがままにされ

こいつの
淫乱っぷりを
はかるために
全身の感度
チエックだ



ゴッ



はッ！



ぶっ
触ってっ……

なッ……

カアアア

クニ



あッ

身体を……
弄ばれたの
だった

あんッ!

^^
とりあえず
クリの感度は
相当なもんだな

どれどれ他に
感じやすい場所は
どこかなあ

ここなんて
気持ちいいんじや
ないのかあ？

あっ！

だ…めツ

そんな…とこ
舐めないでええ

ほーれほれ
こーも……





はあ…

へへっ…

お嬢ちゃん

凄いなえ

アンタ

全身ほとんどが

性感帯だよ

はあ…

こりやよつぽど
淫乱な身体に
生まれて
きたってこった



ズク
ズク
ズク

いッ…
イヤッ…

吸つちや
いやああ—ッ

舌で弄くって
やるよ



ハッ

つたく……
まずはおれから
一発やらせて
もらおうかな

ッッッッ

イラ イラ

おいッ……

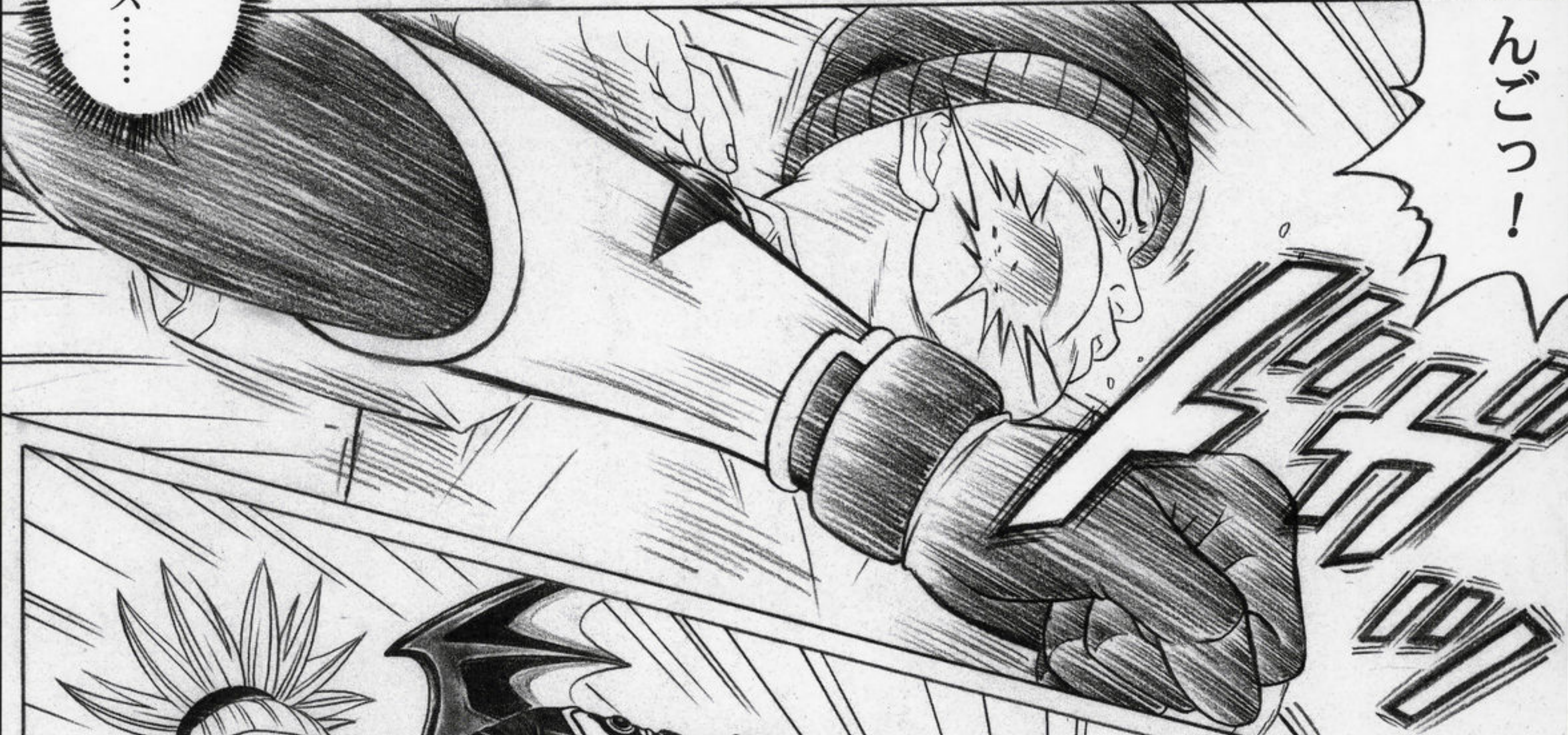
お前ばつか楽しん
でんじゃねえよ

そろそろ
交代だ



ゲゲッ……

今だッ
チャンス……



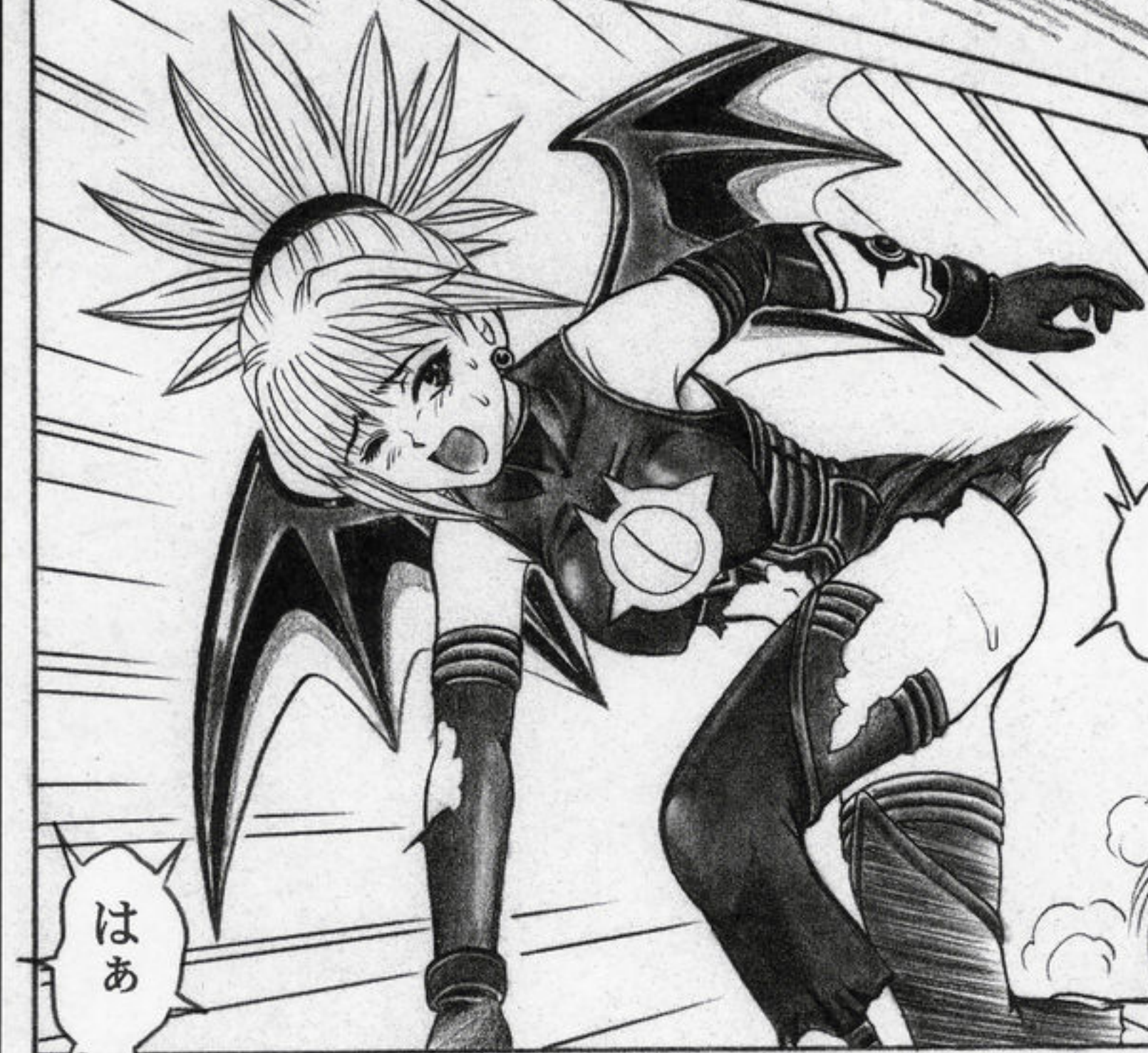
んぐっ！

ッッッ

あ
痛ッてえー
ッ

はあ

はあ



ッッッ



まったく……
どうせなら気持ちよく
してやろうって配慮で
あんだけ優しくして
やったってのに

悪いことした
お嬢ちゃんには
お仕置きだ

罰として今日は
スペシャルハードな
突きで……

んはあッ……

この下品な穴
めっちゃめっちゃに
かきまわしてやる



いッ…や!

いやあッ……

おほほお
すんげえ——ッ
中ヌルヌル

お前の穴ん中
最高に気持ちいいなあ

う……そッ
入ってる

男のアレが…
入ってるッ!

抜いてえッ

イヤあああ
抜いてえーッ





あつ...!

あつ...!

.....にしても

そんなカッコ
してるから
相当な好きモン女
かと思いきや



アంతの
締め具合：
こりや相当な
モンだぜ

くあッ!

まるで処女の穴を
犯してる気分だ

あッ.....
あん!



こりやあ
もしかして
本当に

アంతにその気は
一切なかったって
やつなのかねえ...

いやあ.....
もしそうなら
謝るぜ

ピル
ピル

ちよっと待つてな.....
せめてもの詫びに
良いもんプレゼント
してやつから...

しっかりと
受け取って
くれよお

おれが何日か
かけて作った
濃〜いモン……

たつぷりお前の身体に
注いでやるからな

なツ……

おへツ

イヤッ!
やめてッ!

イヤッ!

!!!?



え 抜いてえ
ええツ!!!!

おツ!

おほツ...

中に出さない
でえ——ツ





…っ
…っ
…っ
…っ
…っ



はあ
はあ



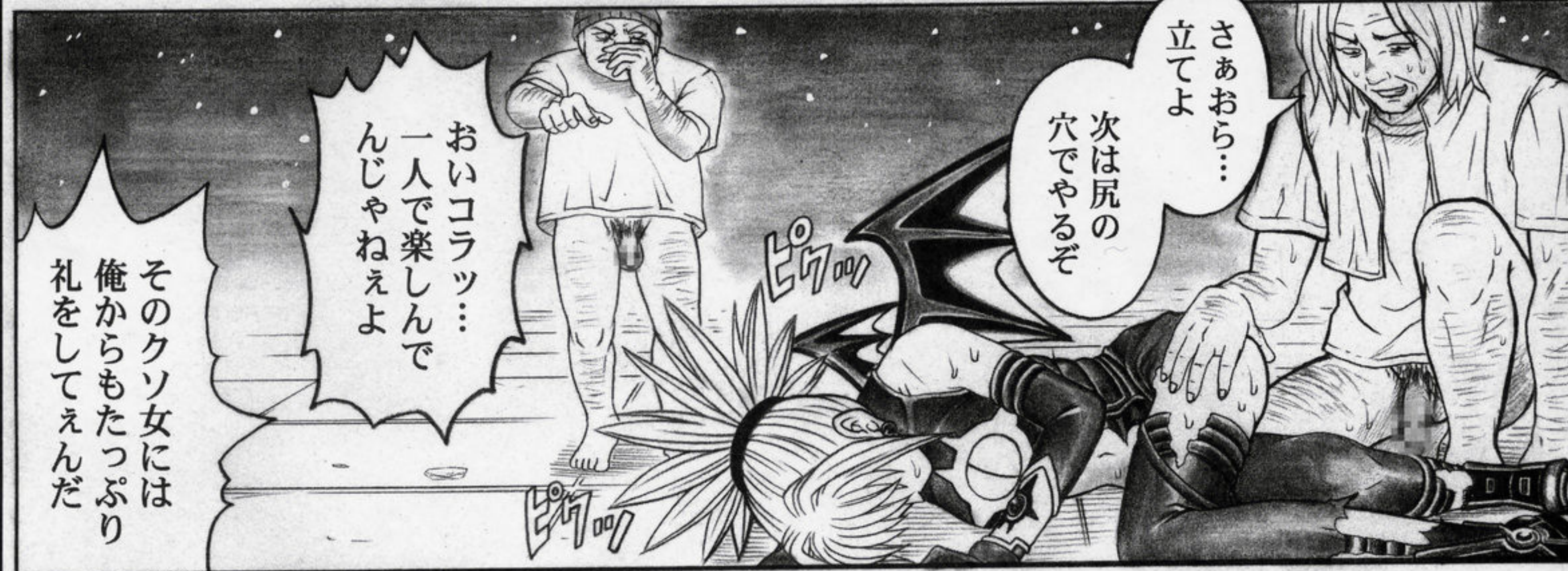
どうだ？俺の
精液の感触は

熱いの
分かるか？

うう
うう
うう

入れ
られた…

こんなヤツの
精液を
入れられたッ



さあおら…
立てよ

次は尻の
穴でやるぞ

おいコラッ…
一人で楽しんで
んじゃねえよ

そのクソ女には
俺からもたつぷり
札をしてえんだ

んっ…ッ

ん…ッ

ん…ッ

それから
私は……



ビクッ



アッ

アッ

んっ…ッ

んっ…
んぶっ

男たちの
気が済むまで…
ひたすら
犯され続けた

ギョウカカ

グッ

グッ

グッ

だッ…め!
そんな…
…とこ……

とんでもない
快樂を私に
叩き込んでくる

あいつらは
私の身体のあらゆる
性感帯に刺激を与え

許してもお…
それ以上はッ…
…あ…あ…あ…あッ

イ…ちやうツ!
お尻…で
イッ…イッ
…ちやうツ!

グッ

グッ

ゴ

ゴ

ゴ



私はそのあまりの
気持ちよさに
何度もイッてしまひ

あ…ッ

ズキョ
ズキョ
ズキョ

ズキョ
ズキョ

すじ…い……
すじお……い

絶頂を
迎えるたびに
快樂の味を
覚えさせられ
ていった

んんうッ

んぶうッ

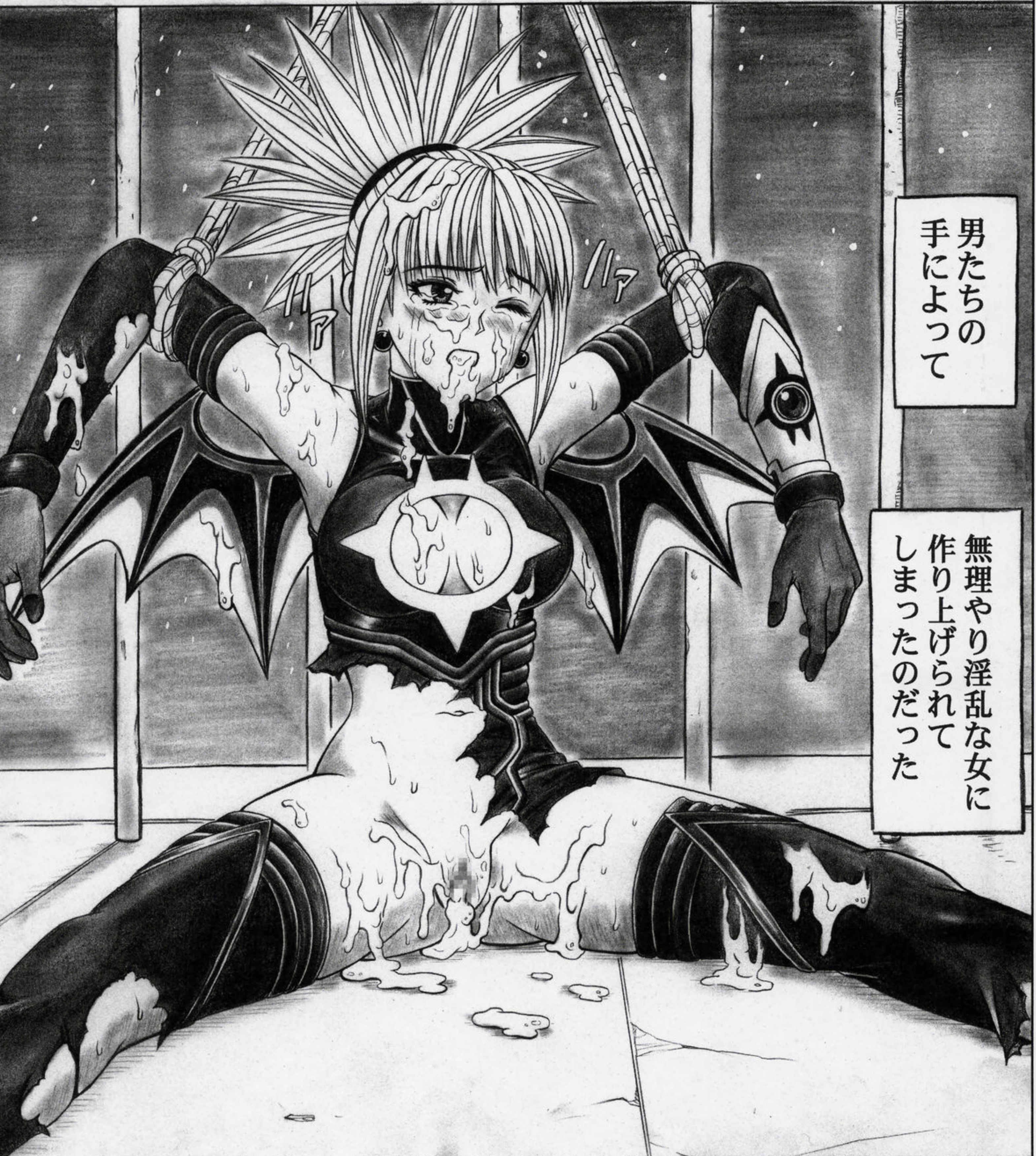
ズキョ
ズキョ
ズキョ



はあ……ッ

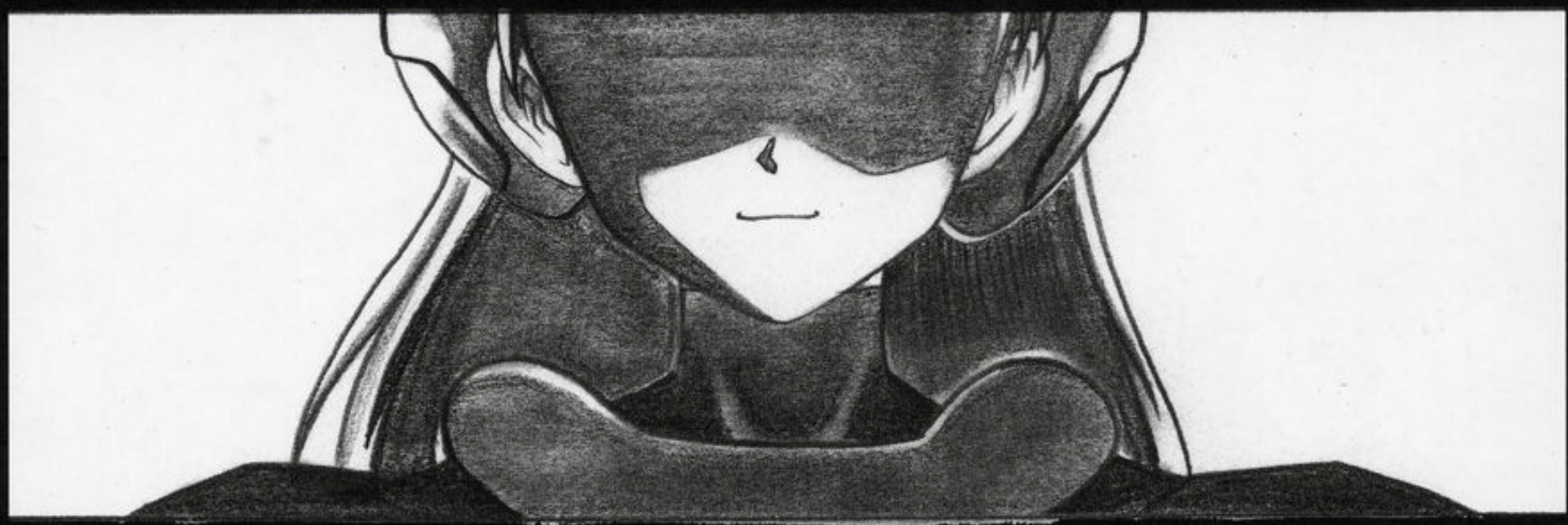
はあ……ッ

そうして
いつしか
私は……



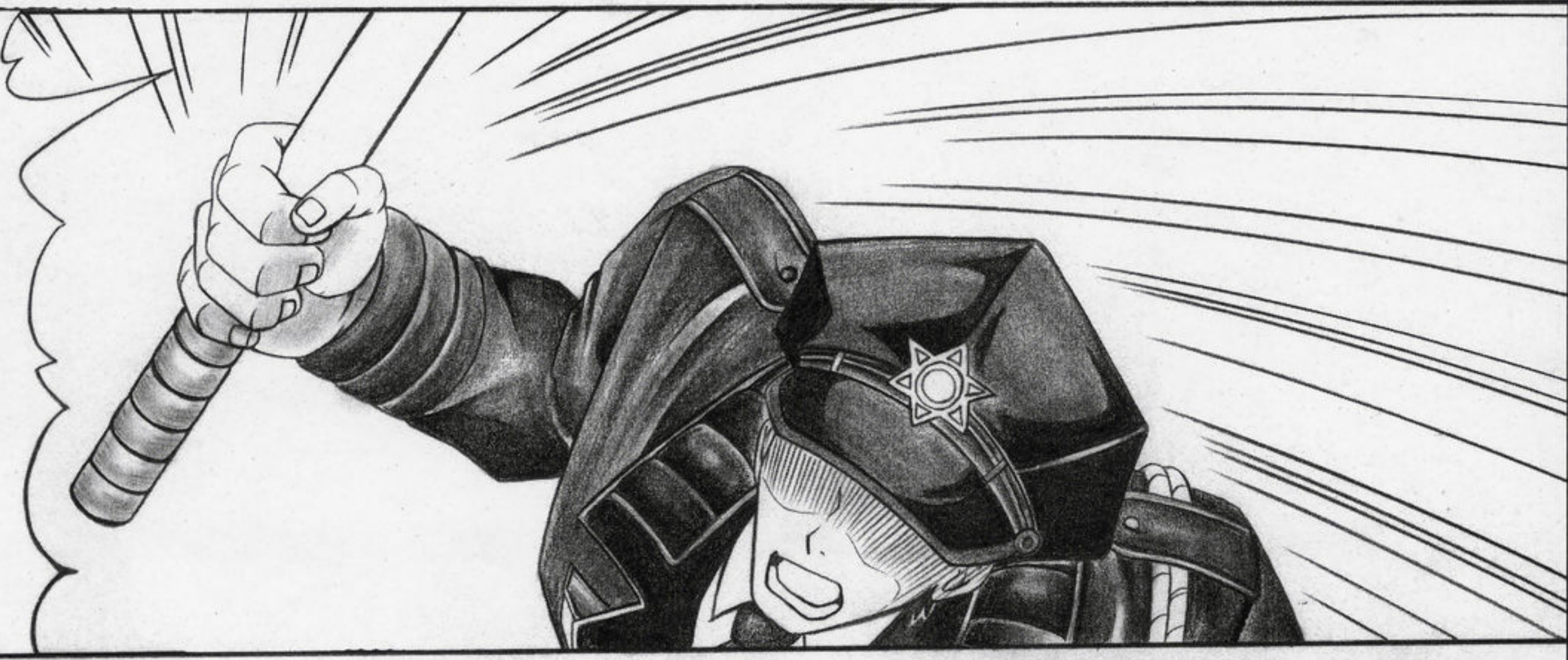
男たちの
手によつて

無理やり淫乱な女に
作り上げられて
しまったのだった



てやああ

ッ

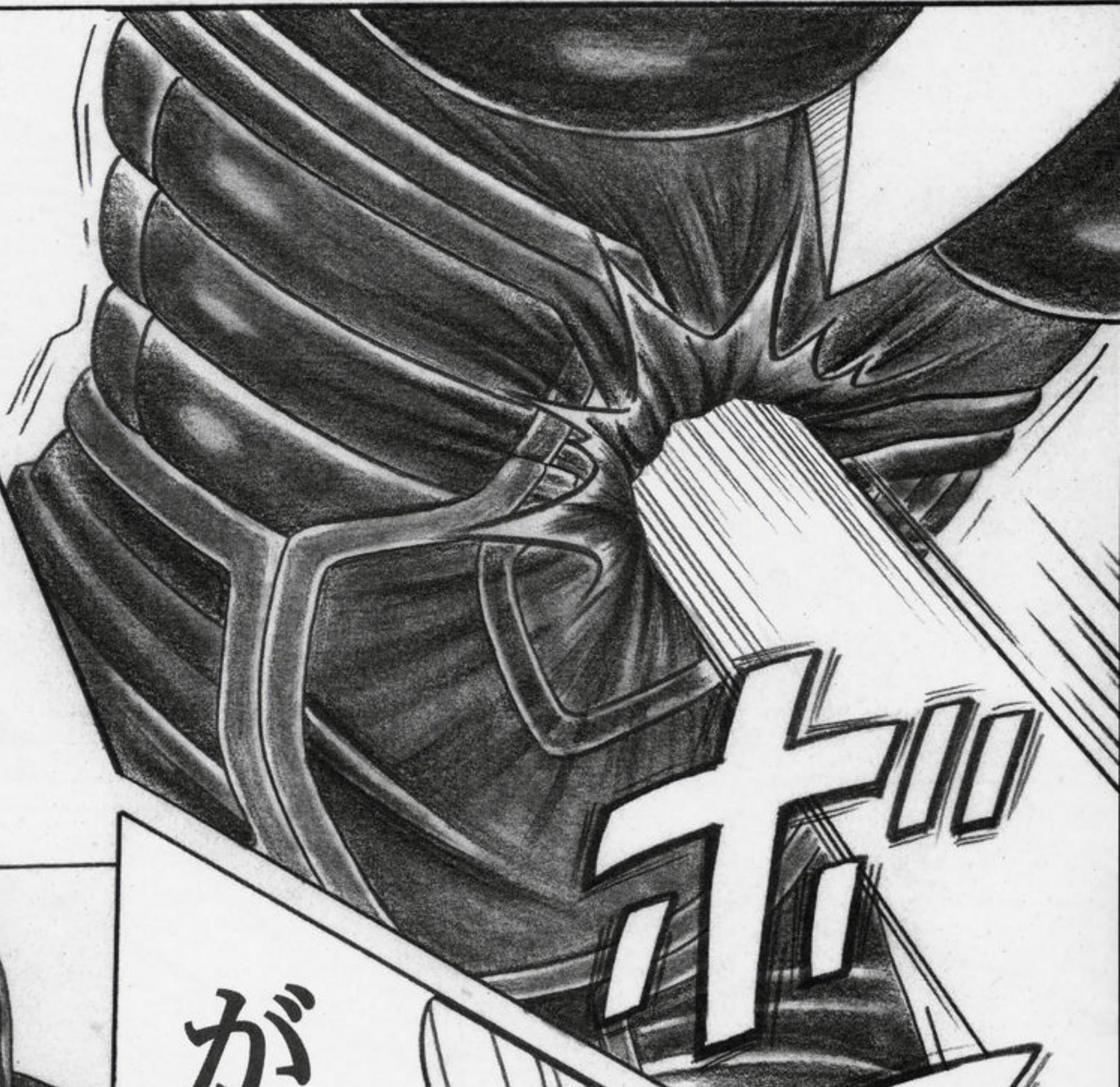


危ないで
ヤンス!

アイミニ!



ビッ



が
っ





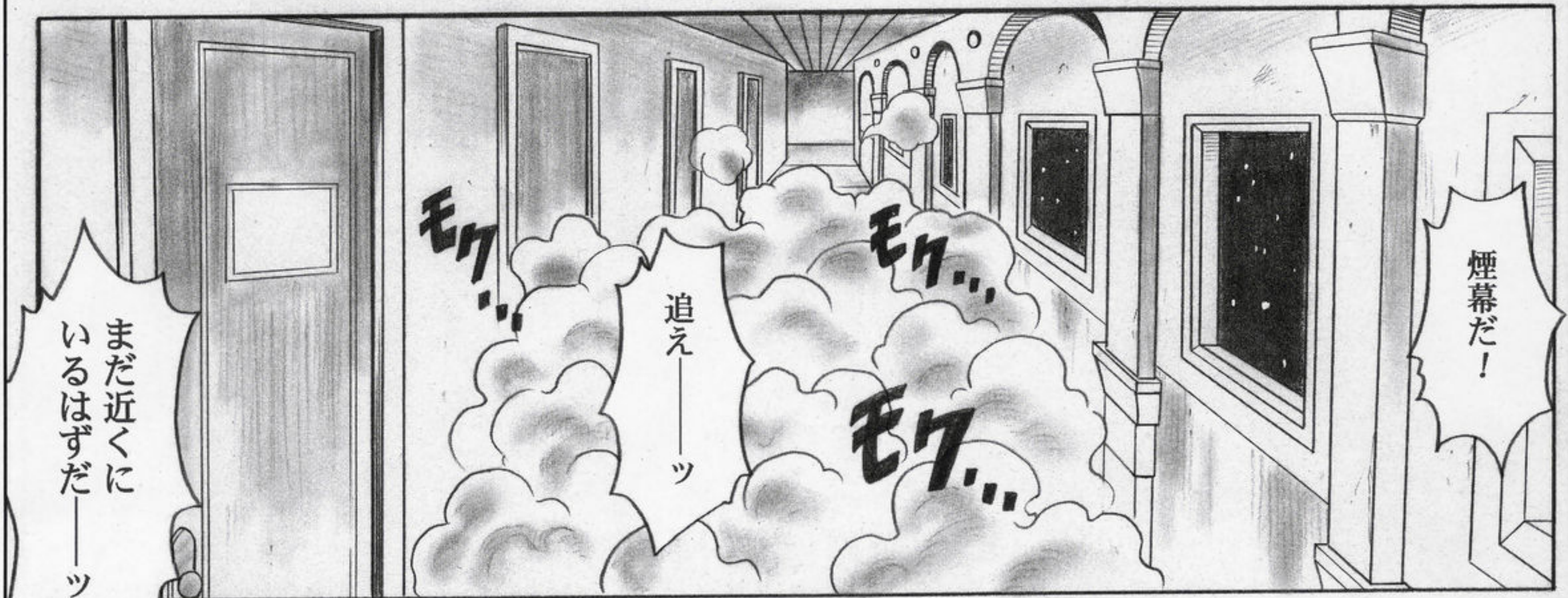
ゴゴゴ

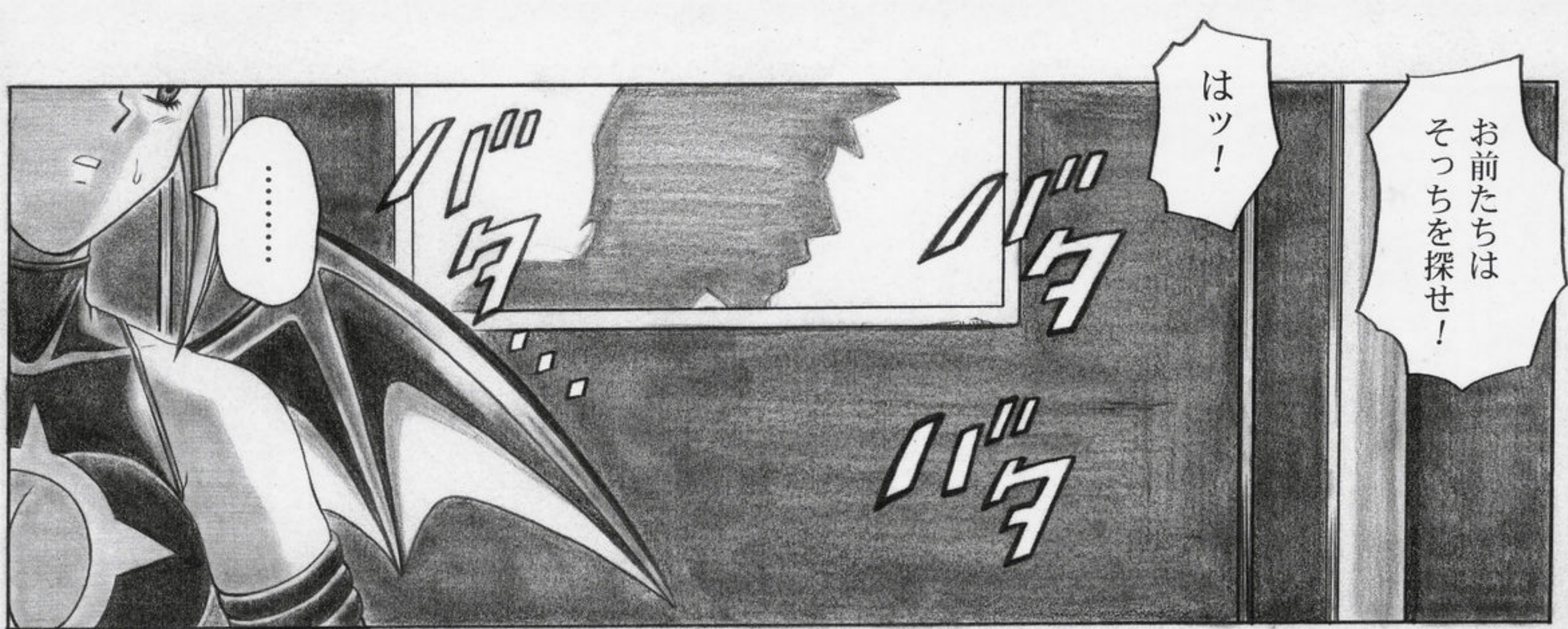
あ...かほつ

シリッ

シリッ

ゴゴゴ





お前たちは
そつちを探せ!

はッ!

.....



どうやら...
...行った
ようでヤンスね

.....

ええ...



この前の
魔石回収の日
以来...なんか様子が
おかしいでヤンスよ

それにしても...
アイミってば
どうしたで
ヤンスか

.....
ッ
ハッ

バツ
バツ



何かあったで
ヤンスか？

べ…
別に…



まあアイミの場合
悩んだりするのは
定期的にあるから
正直そこまで気にして
なかったでヤンスが…



それにしたって
あんな警官相手に
手こずるなんて
今までに無かった
ことでヤンス



何も
ないわよ…

もじ

もじ



とりあえず…
…デモ太

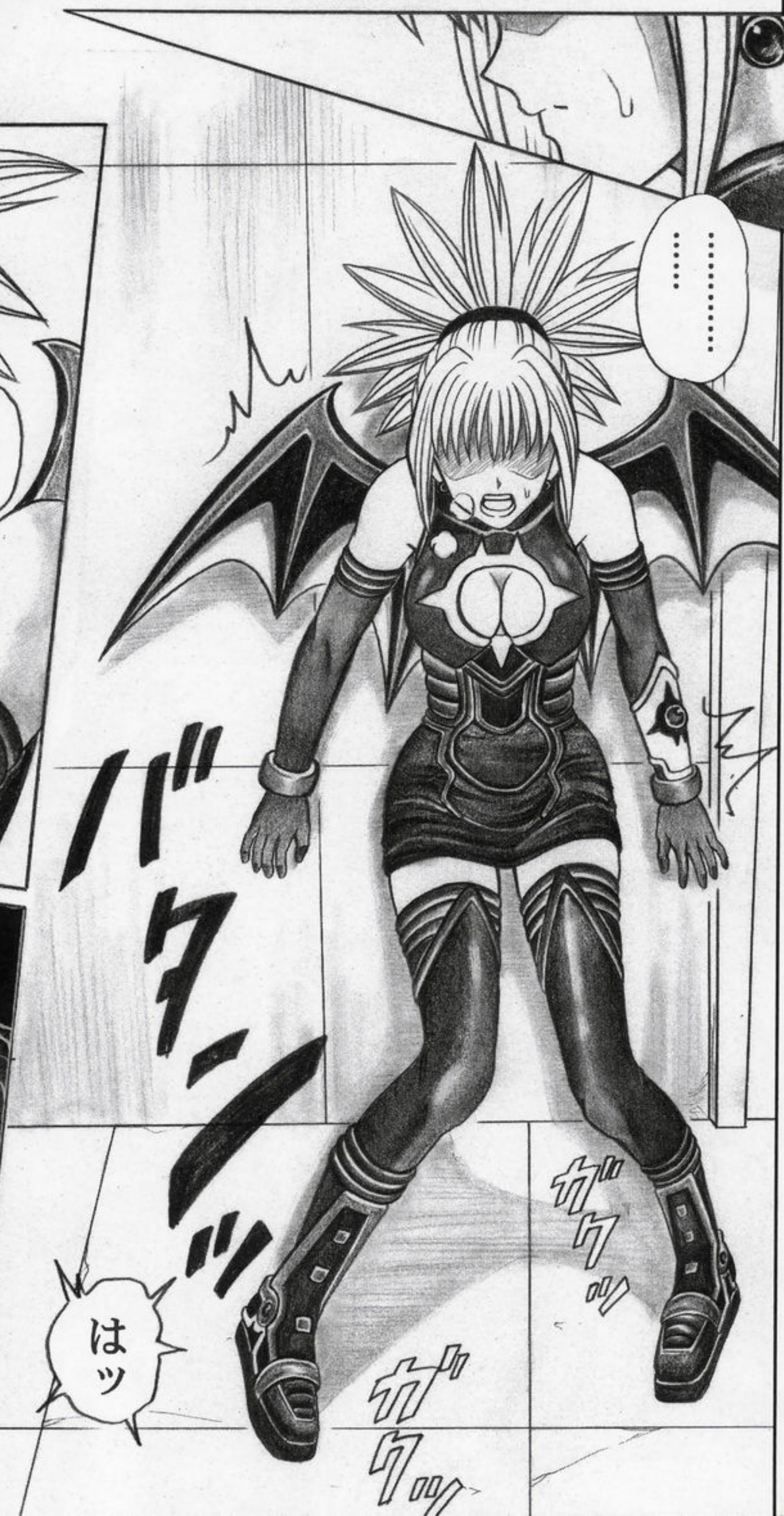
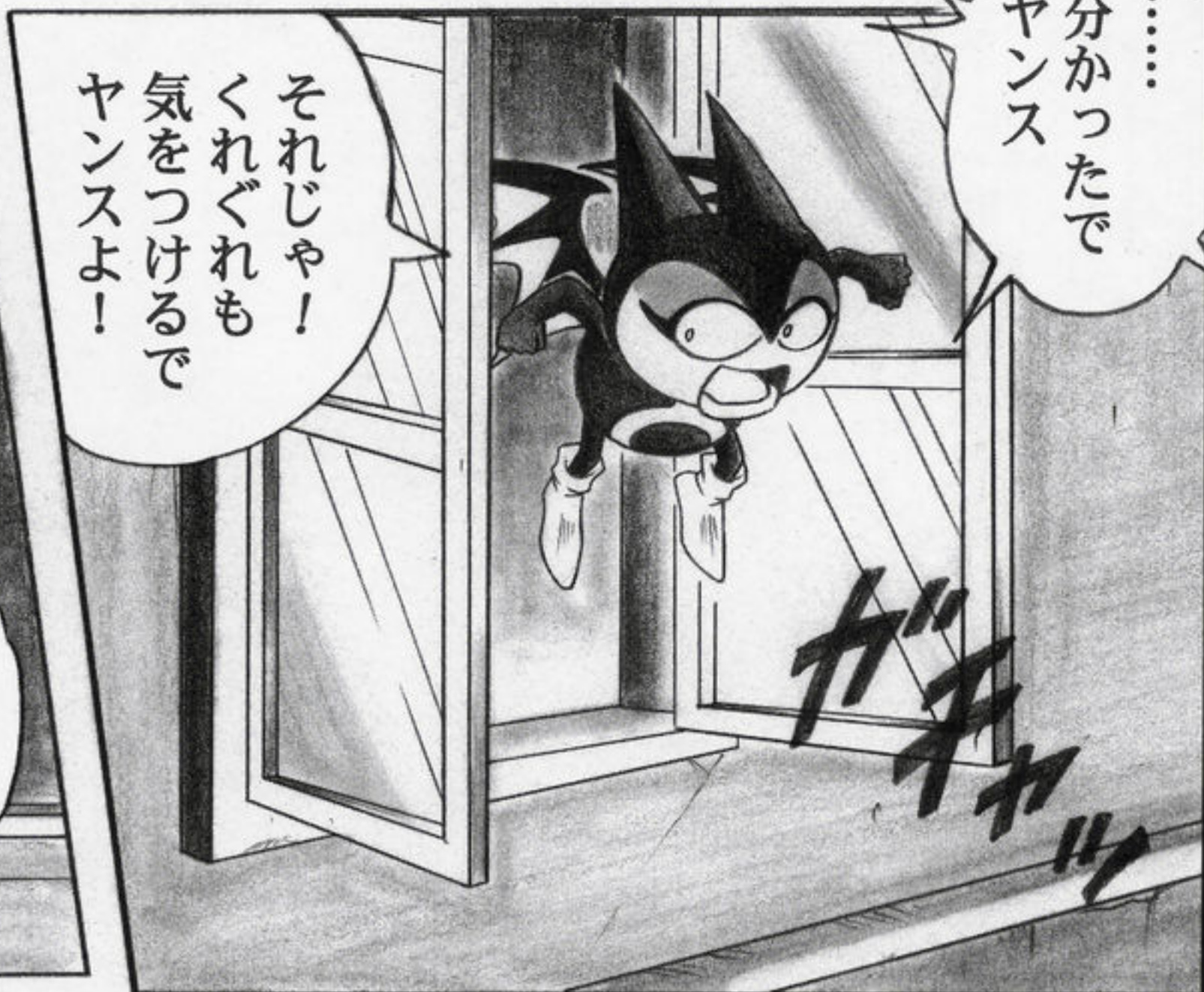
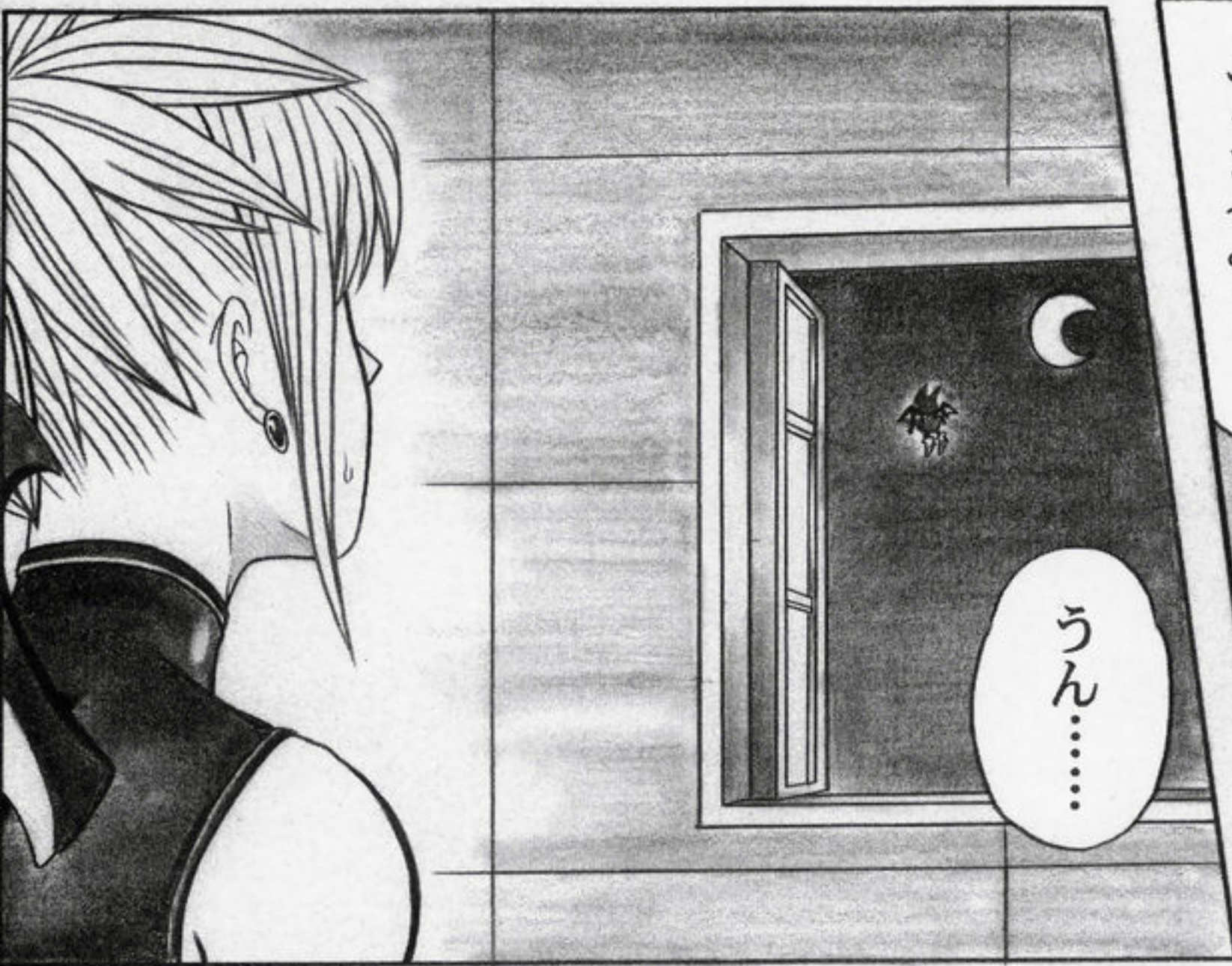
悪いけどアンタは
魔石と市長の位置を
特定してきて
ちょうだい

私はそのあいだ
適当に警官たちの
相手してるから

だ…大丈夫で
ヤンスか？
一人で…

さっきはちよっと
油断しただけよ

同じミスは
二度しないわ



あの日……
犯されたのを境に……
私は変わってしまった

それまで
経験した事のない
快楽を

一度にあれだけ
叩き込まれて……

ピチ
ピチ

ピチ
ピチ

私は……

うっ……

はあ……

はあ……

歪んだ性癖に
目覚めて
しまったのだった

ガクッ
ガクッ

ガクッ
ガクッ





んっ...う

ピキヤ...

うっ...
くっ
う



いけな...いッ

身体の
火照りが...
...もう限界ッ

そろそろ...
1回...イッとか
ないと...

はぁ...

はぁ...



マジで一步も
歩けな...いッ

ふっ...
くっ...



それはあの夜
味わった快感には
程遠い
ものでしかない



あッ…

あッ…

あの日以来…
私の身体は
性の衝動に
駆られてばかり



はッ…あ…

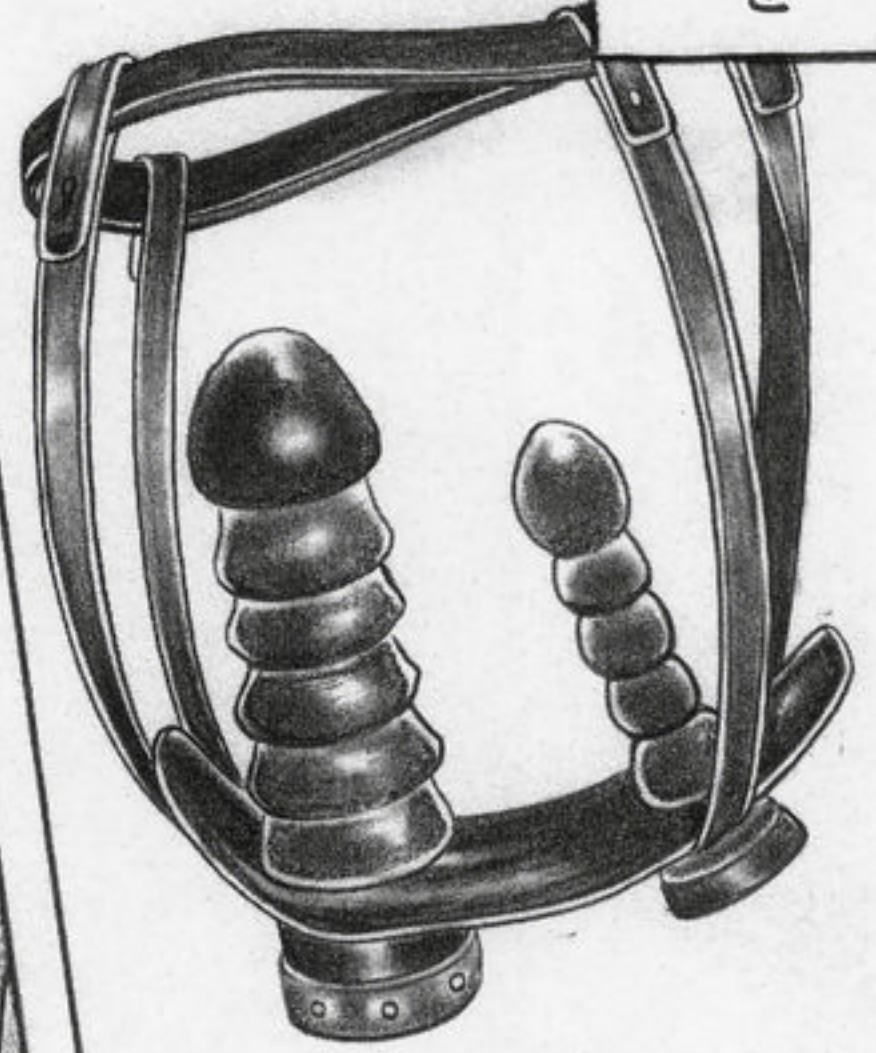
あッ…ん

結果…
私の自慰は
どんどん過激に
なっていた

だけど…
男に抱かれる
術なんて知らない
私は一人で
自分のアソコを
慰めるしかなく…

クチュ
クチュ

ひそかに
卑猥な器具を
購入し



それを
装着したまま
外を出歩く……

バレたら
どうしよう
という焦り

こんな所で
イツてはいけない
という気持ち
強烈な興奮を
生み出してくれて

気がつけば私は
すっかりこの変態的な
行為の虜となつて
しまつていたのだつた

そして今はもう……
その危険な遊びも
行き着くとこまで
行き着いて
しまつたという状態

あッ……

へあ……

ハア
シヤドウレディに
変身した姿で
これをするのは……

ハア
たんなる
冒険心じゃ
済まない

穴の中にこんな異物を
埋め込んだら
走るのはおろか
歩くだけでも快感が
全身に走り…

身体には
まったたく力が
入らなくなる

こんな体たらくで
もしも警官たちに
捕まったら……

もしも魔人に
負けたら……

どれも私にとって
最も恐れていること
になるといふのに……

はあ……

はあ……

スイッチ……
入れたい……

ぽ

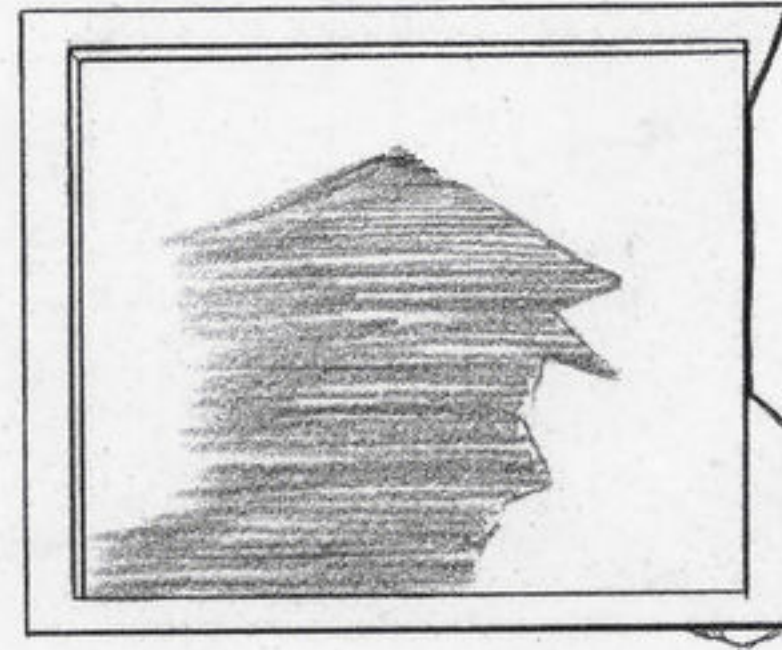
だけど
止まらない

ぜんぜん
止まらないッ





ここからかッ?



なんだ
今の声はッ



いたぞ
ッ

シヤドウレディを
発見した——!

しまった……
見つかった



……ッ



逃がすか
ツ



早く…
逃げないとツ



ツ!?



リモコン
失くし
ちゃった

あた

ふた

うそッ
やだ…

今だッ!
全員で
とり押さえ
るぞ!

カンッ

カラッ

いけえ——
——ツ！



ぐっ……

なんて
ことツ……

突撃い——
——ツ



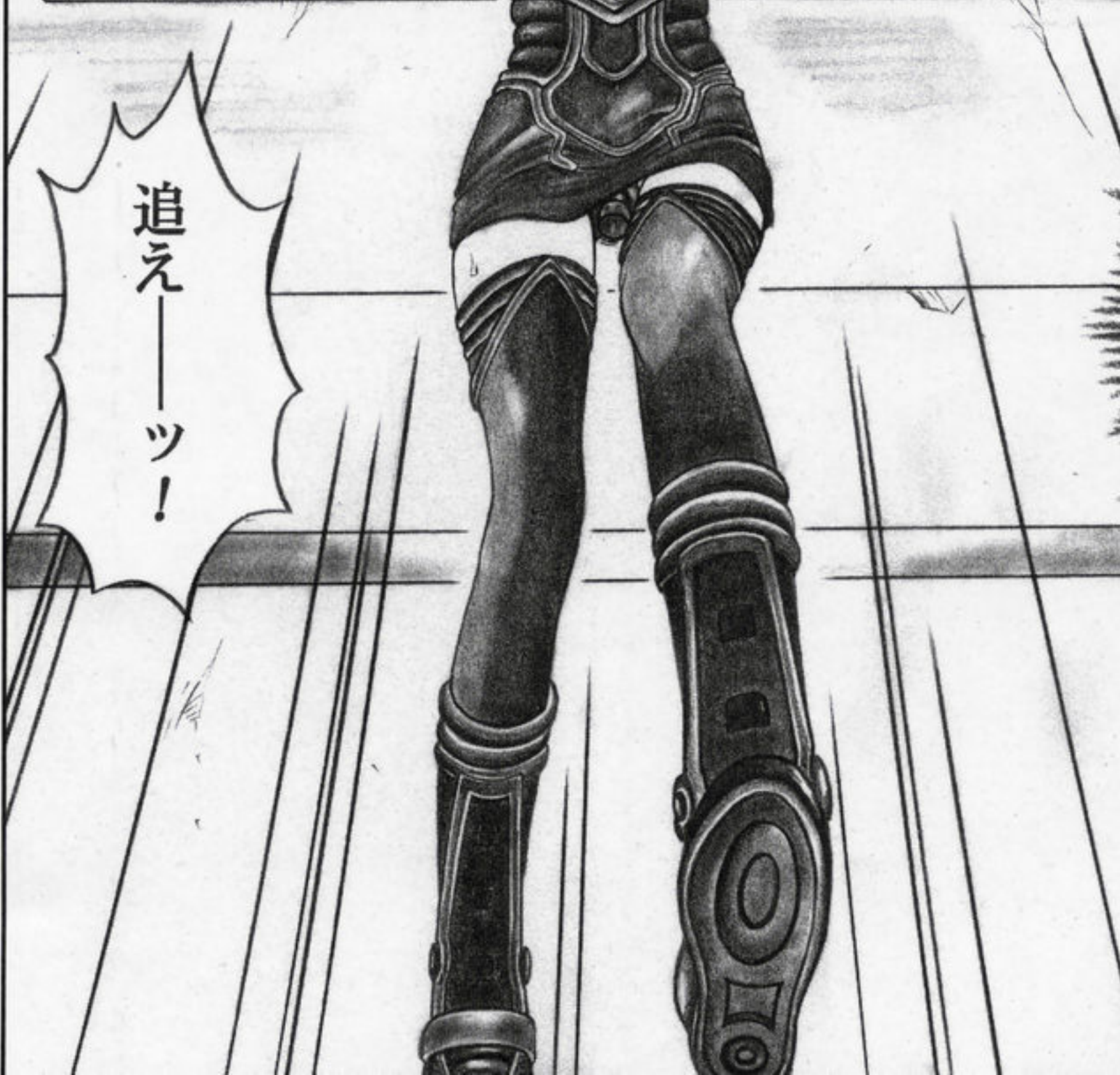
逃げたぞー



アソコの
中で……

ザザザ

グアイイ

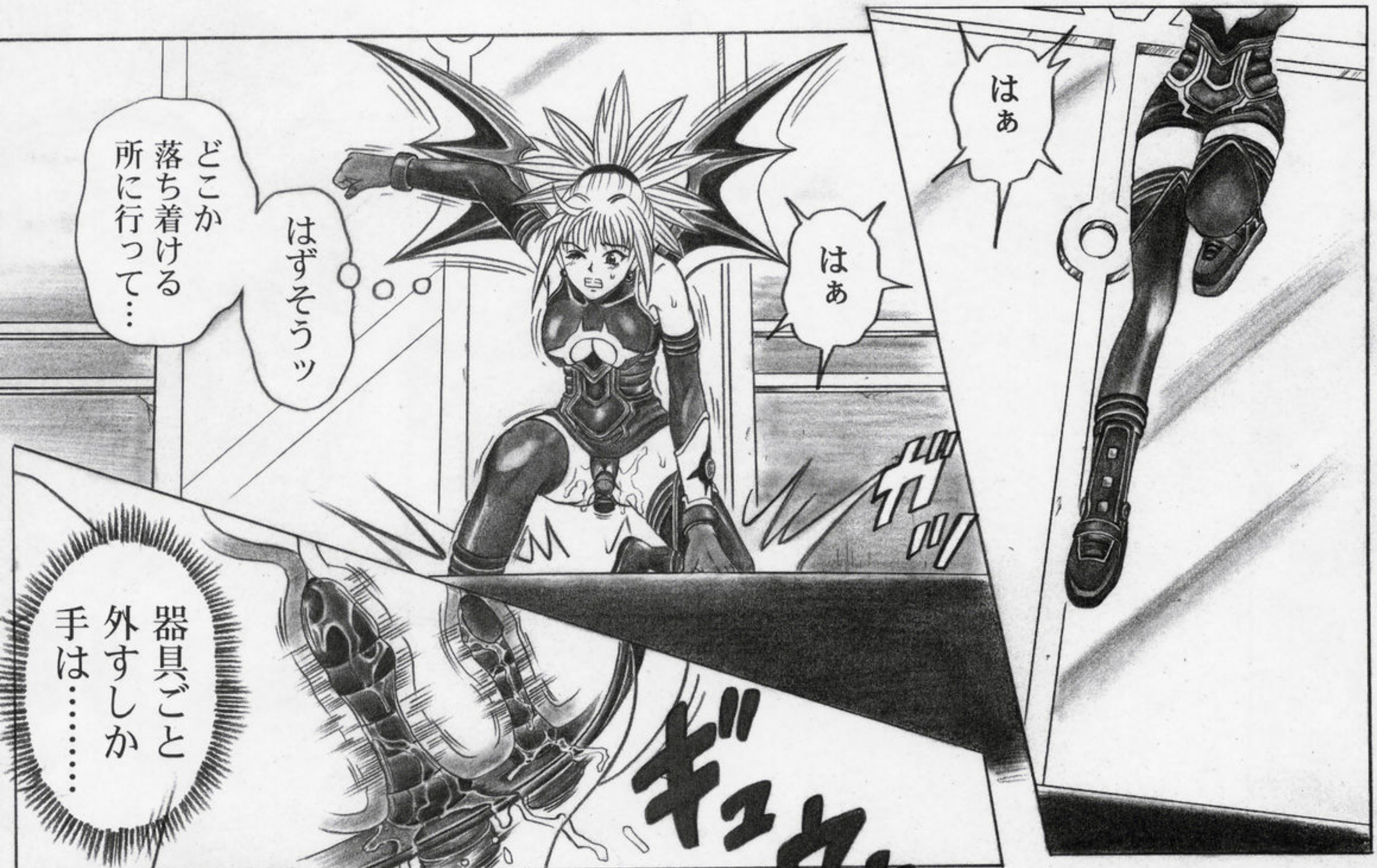


追え——ツ！



アレが動いてる
ままだって
いうのに……

グッ……



はあ

はあ

はずそうッ

どこか
落ち着ける
所に行つて…

器具ごと
外すしか
手は……

ギョウウウウ



はッ：
うあああ—
—ッ
!!?

身体に力を……
入れた…せいでッ

あッ……

締め付けがッ

ああッ……

ウイイイ

ウイイ

今…こんなところで
イッたら…
確実に捕まるッ

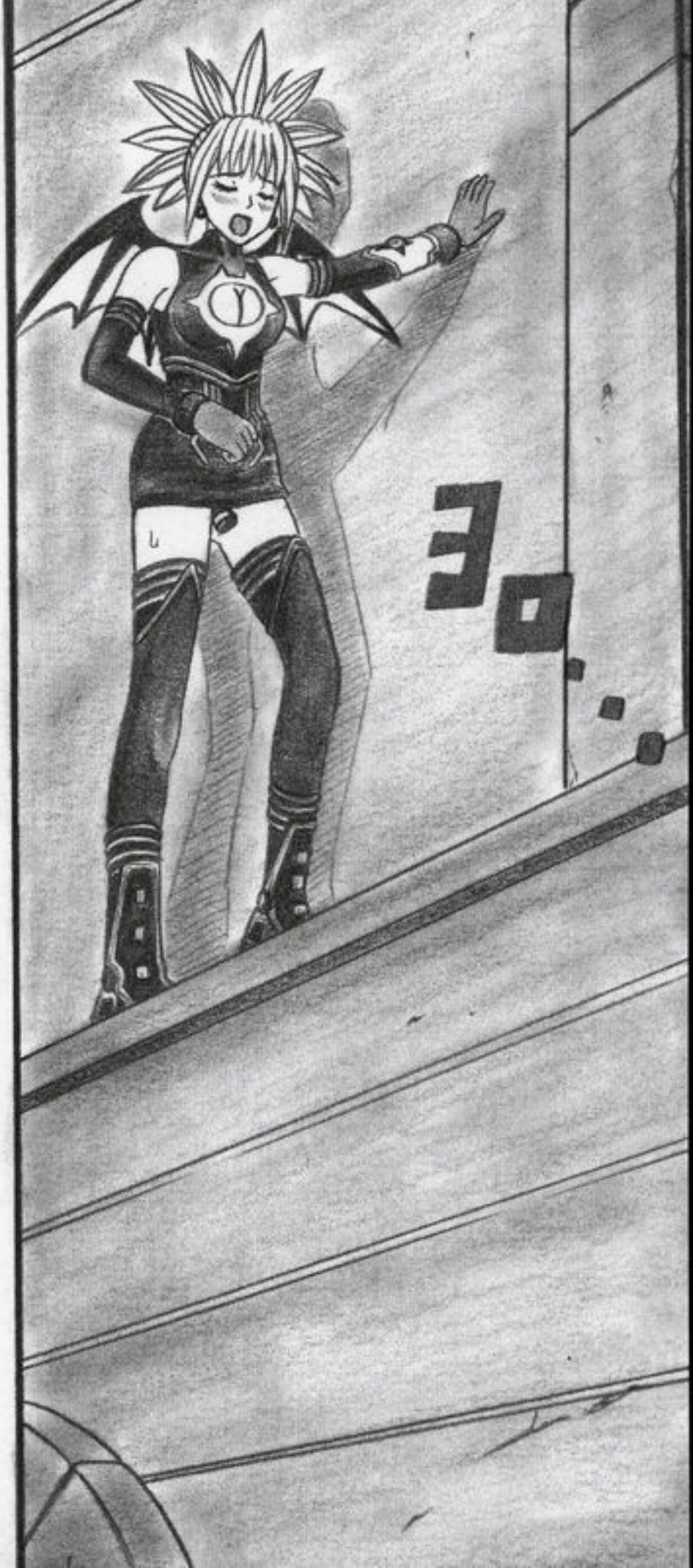


くうッ

んッ…

はあッ…

はあッ





あっ……

早くどこか…
隠れられる
場所に……

あ…はあ

はッ…

ピンッ

ピンッ

ピンッ



大…丈夫

このままそつと
歩いていけば…
きっと大丈夫…

はあ…

はあ…

ハッ
ハッ

ううッ…

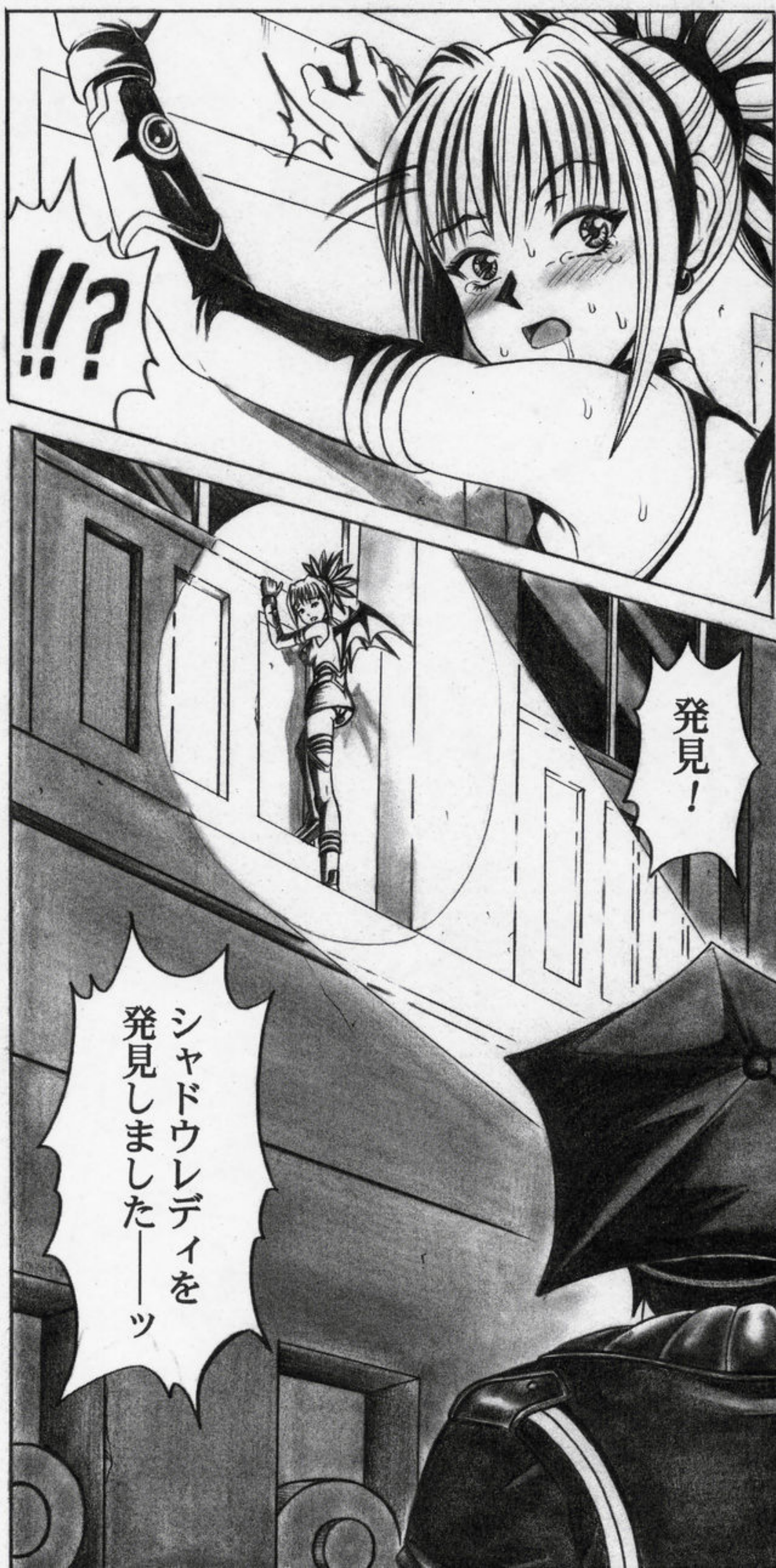
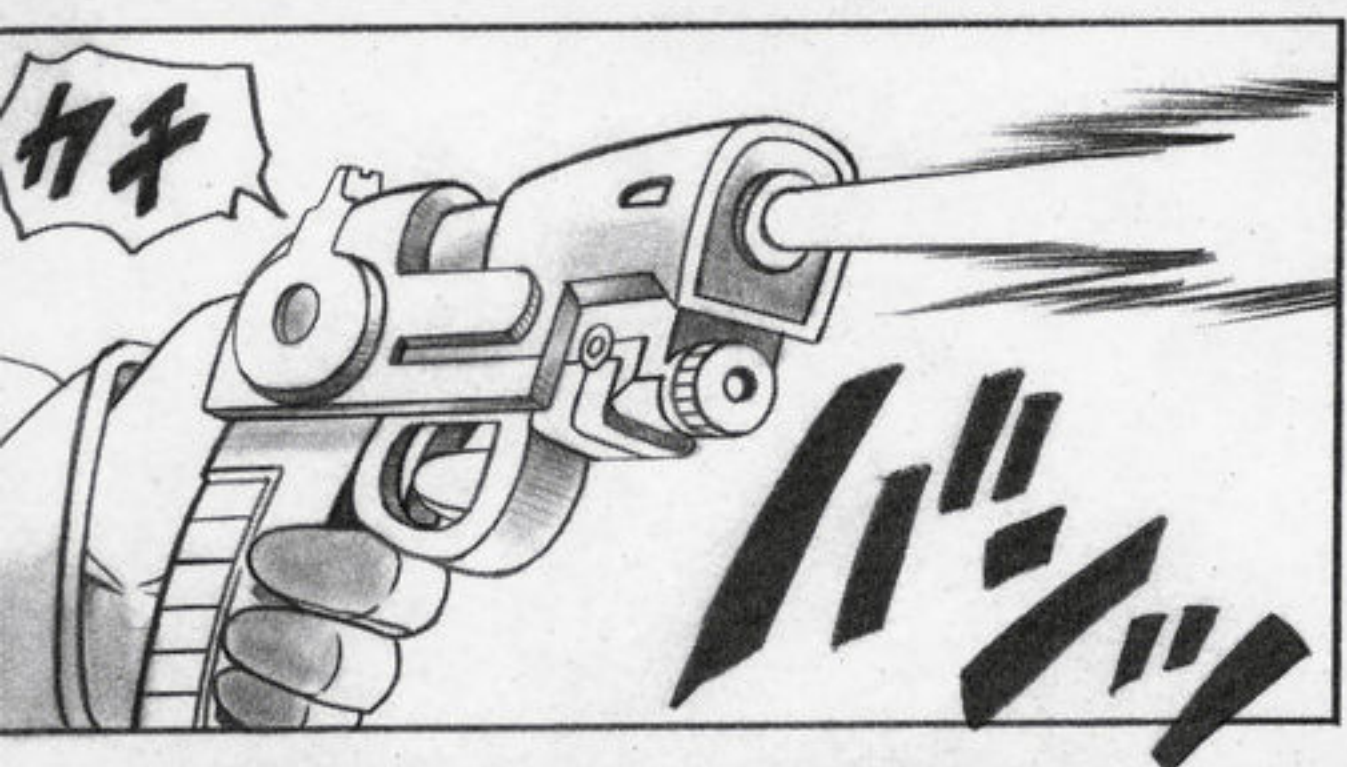
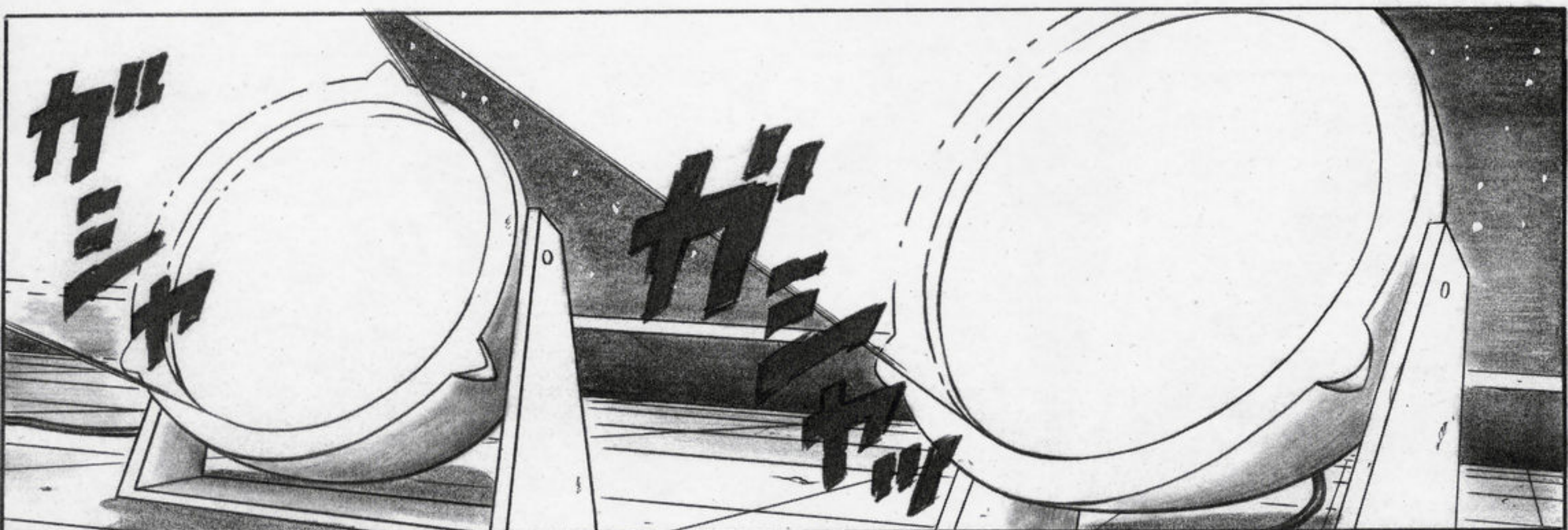
あと
少し…

もうあと…
少しだけ
耐えれば…

ガッ
ガッ
ガッ

ガッ
ガッ
ガッ

ガッ
ガッ
ガッ

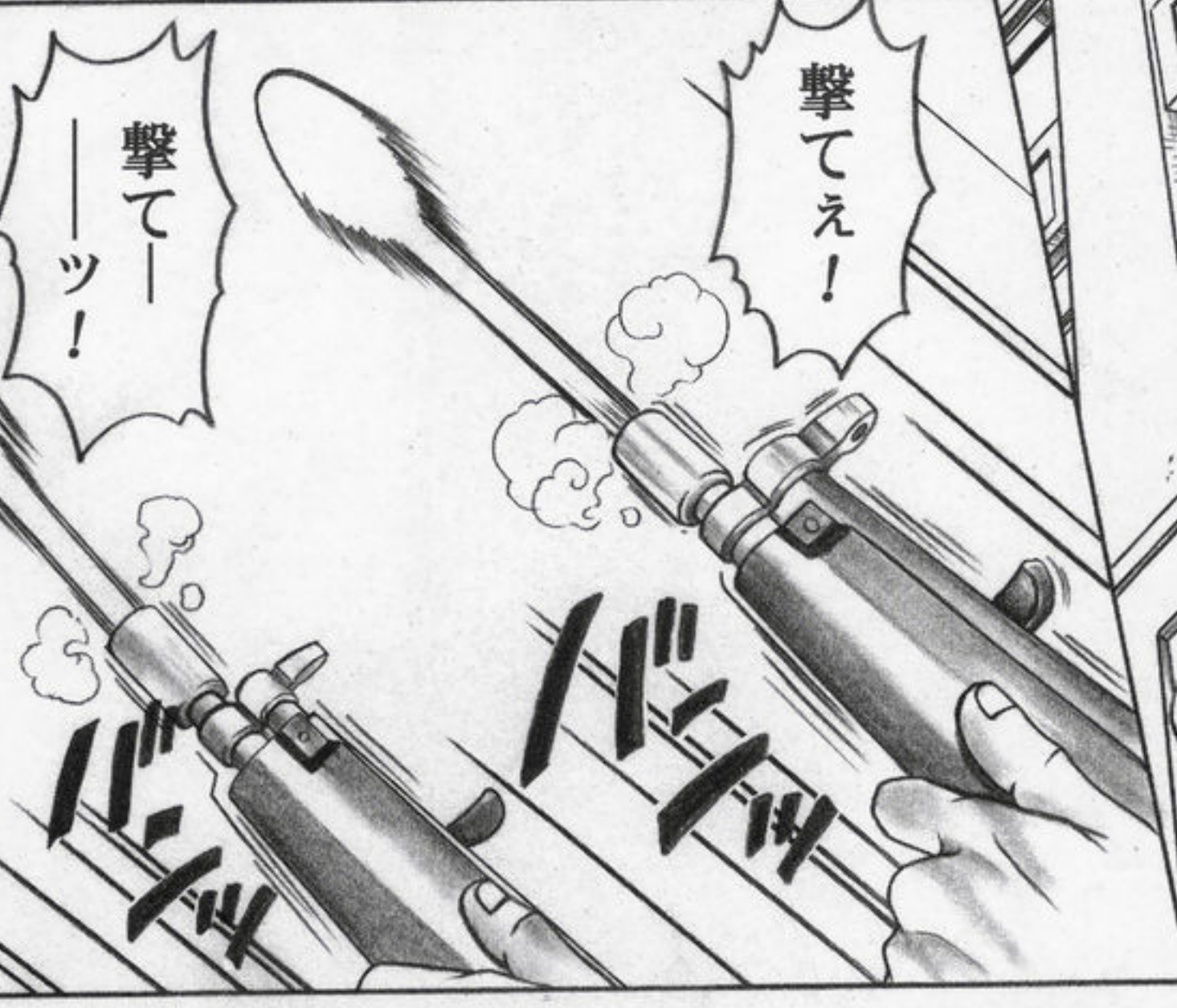


シャドウレディを
発見しました——ッ



捕獲銃
用意ッ

捕獲銃
用意ッ!



撃てえ!

撃てー
ッ!



ド
キ
キ



えッ…
…?
…?

あ…

クラッ

うあああ—
ッ!



シヤドウレディを
捕まえましました——ツ

ガッ
ガッ
ガッ

ガッ
ガッ

…せ…
成功！
捕獲成功！

ガッ
ガッ

…あ…ツ

ああ…

おおー
——ッ

やったぞ！

ついに
捕まえた！

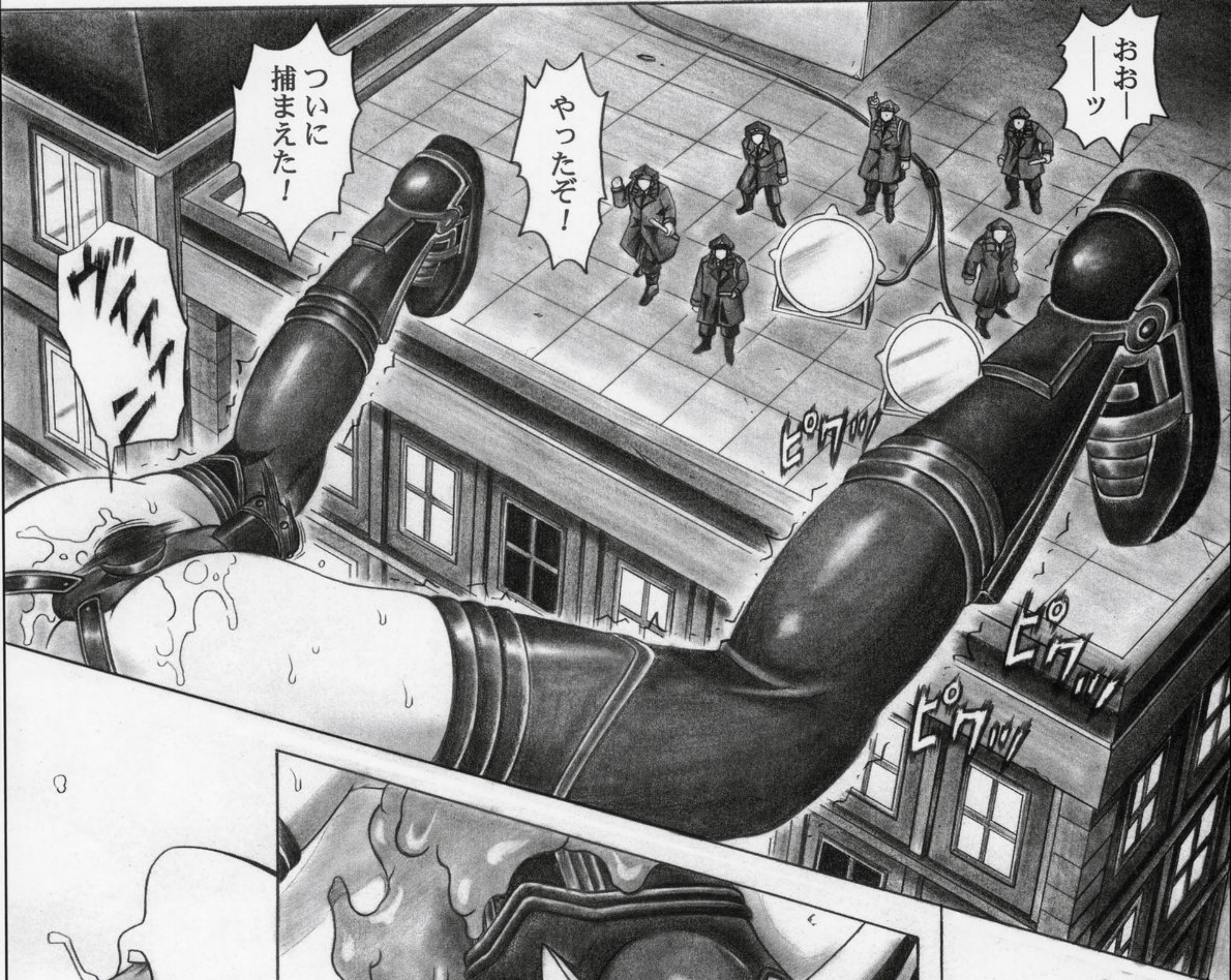
ライトだ！
ライトをもっと
当てろ——ッ！

はあ……

はあ……

我慢でき……
ないッ

ダメっ
もうッ……
こん……な





あ………ツ
………あツ………

イクツ!

ヒッ!!!

グッ
グッ
グッ

ヒッ!!!

ヒッ!!!

グッ
グッ
グッ

グッ
グッ
グッ

あああ
——
ツ

いつちやう——
ツ!!!

ヒッ!!!

ヒッ!!!

あッ…

ああッ…

おい…
なんだあれ

……

フッ…

フッ…

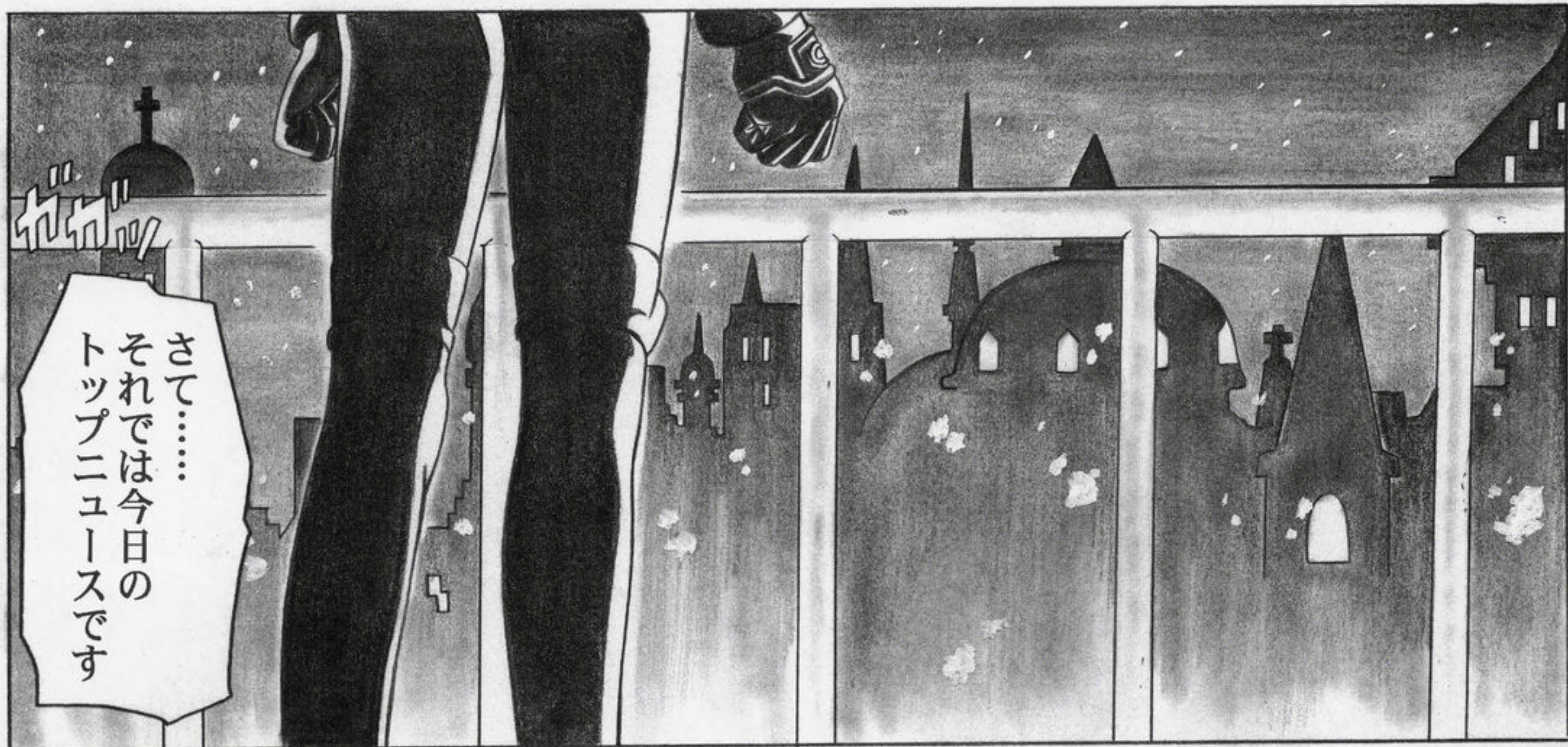
あッ

……
マジかよ

……
ッ

ゴク





さて……
それでは今日の
トップニュースです



よお……
お嬢さん



市警本部前には
マスコミが殺到
しており――



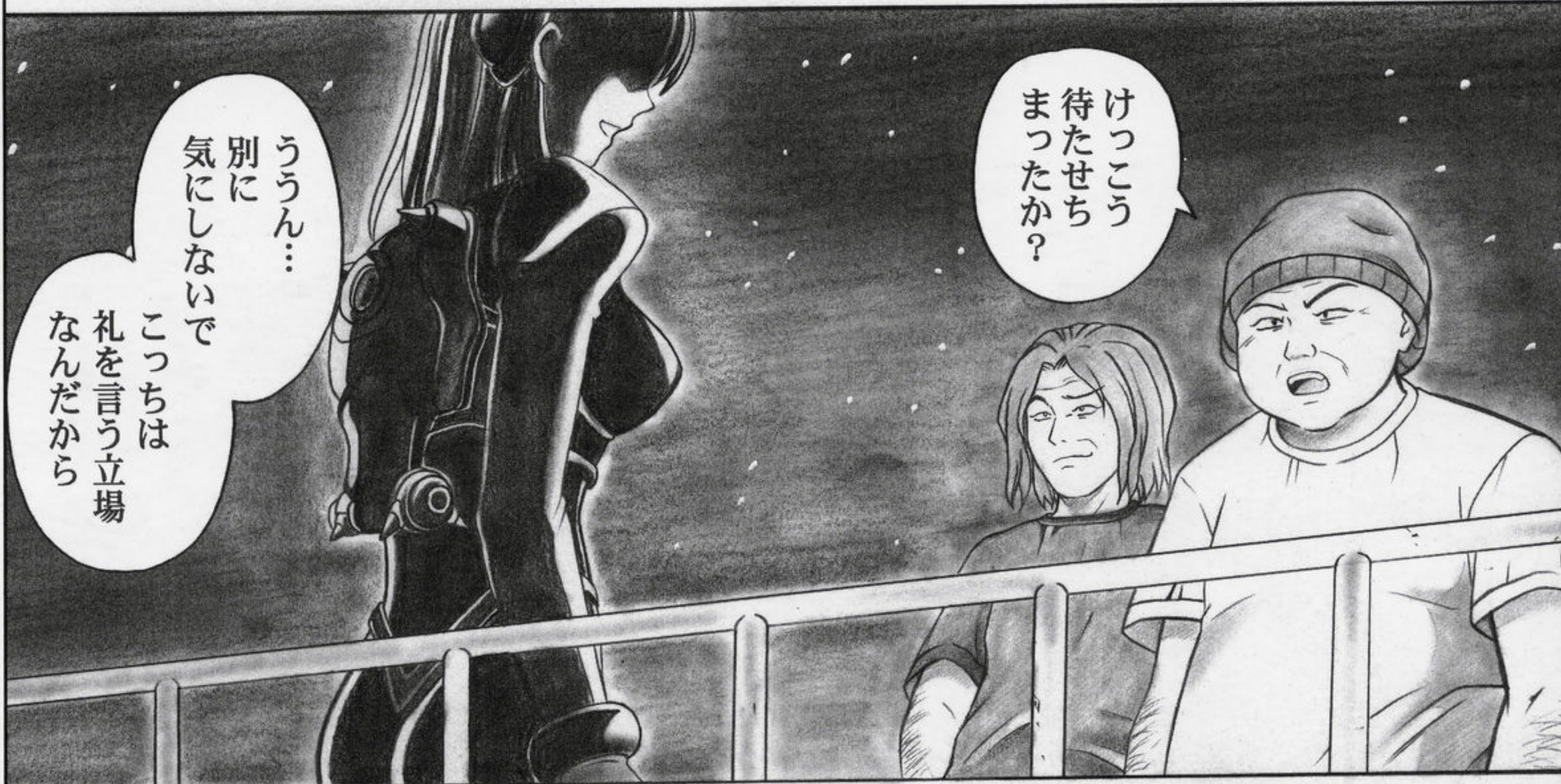
すまねえ
ちよつと
遅刻しちまった



つい先ほど
グレイシティ市警より
発表があり、
シヤドウレディの逮捕に
成功したとのこと



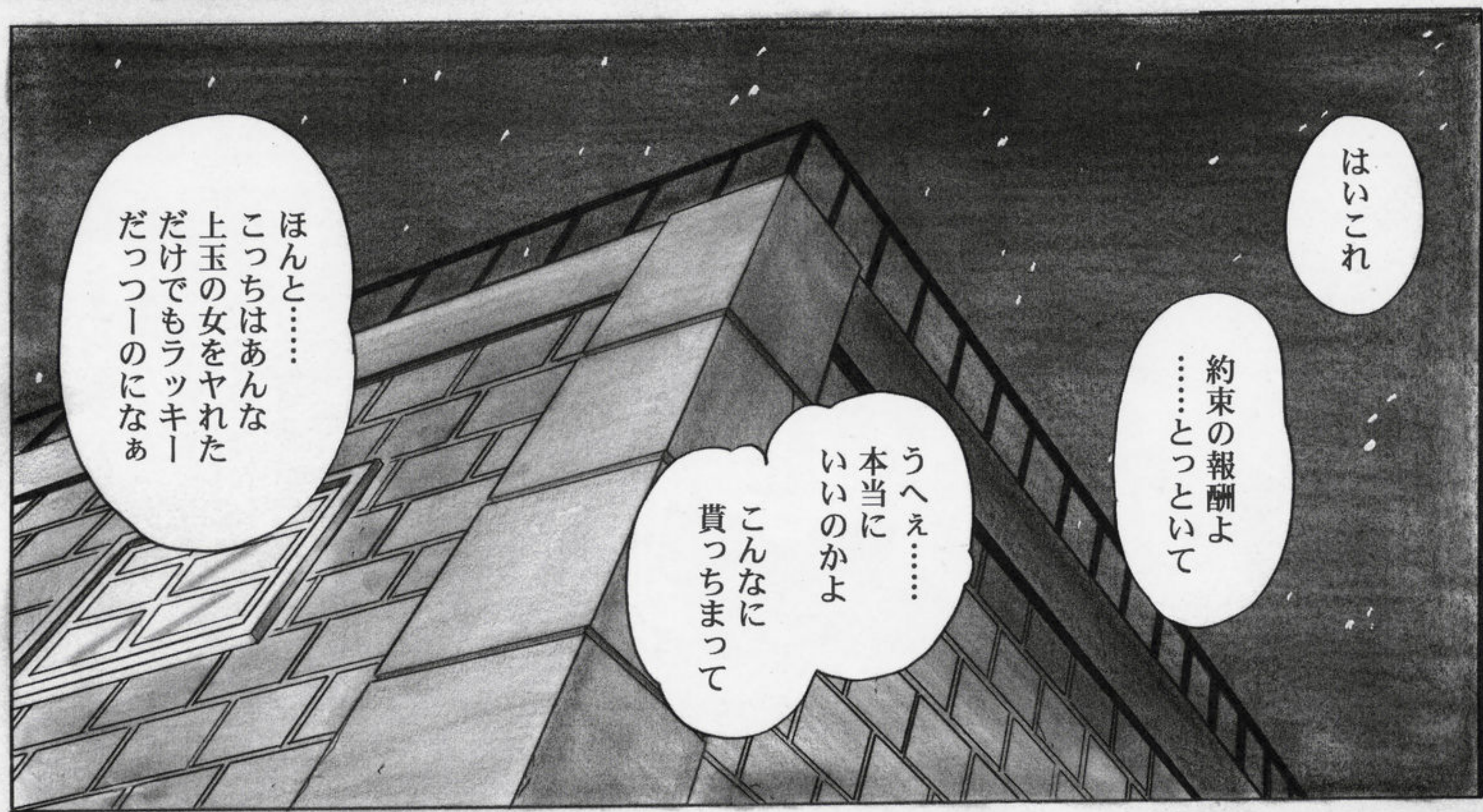
詳しい事は
このあと開かれる会見で
明らかにされる模様で……



けっこう
待たせち
まったか？

ううん…
別に
気にしないで

こっちは
礼を言う立場
なんだから



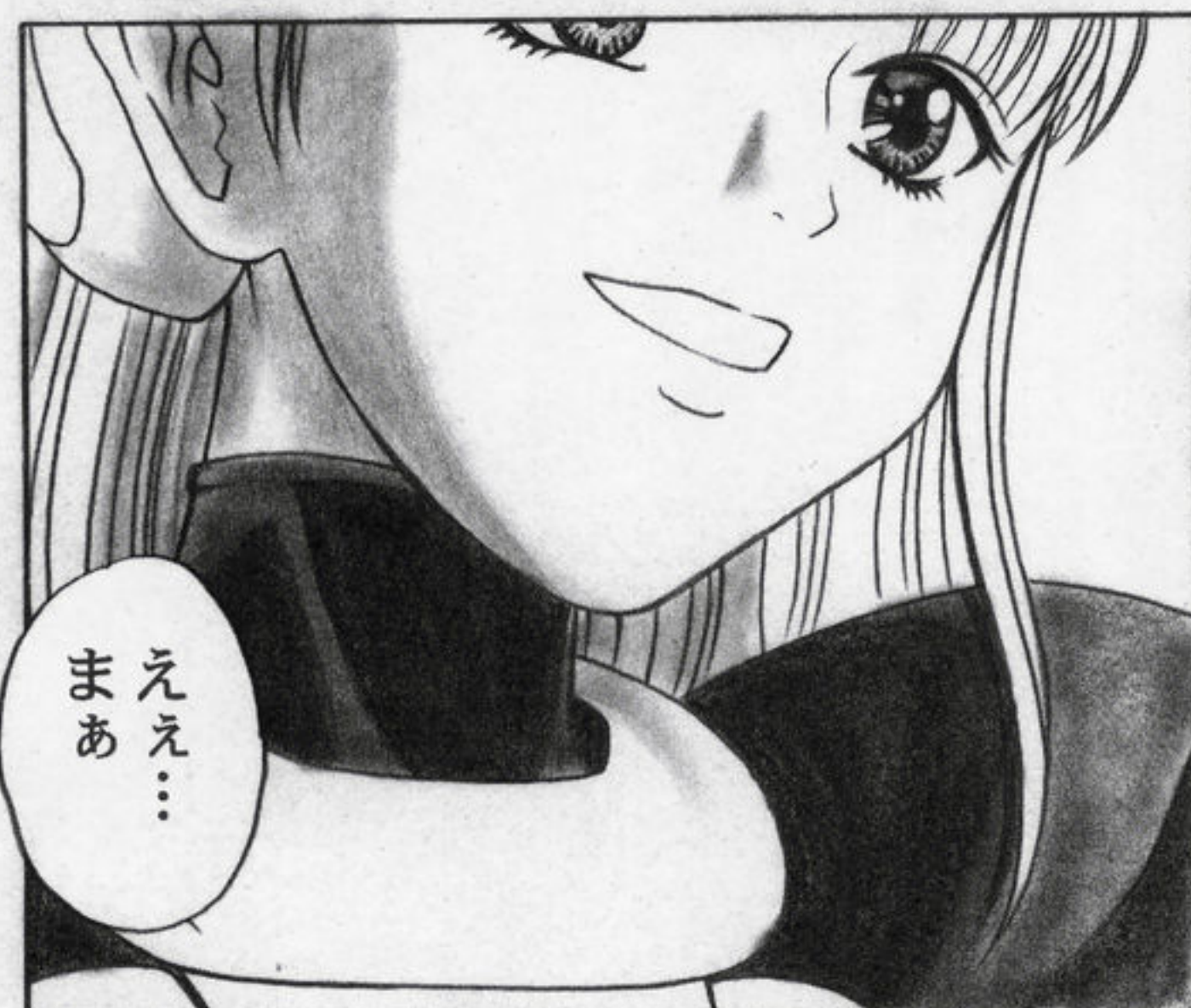
はいこれ

約束の報酬よ
…とつといて

うへえ…
本当に
いいのかよ

こんなに
貰っちゃまって

ほんと…
こっちはあんな
上玉の女をやれた
だけでもラッキー
だっつーのになあ

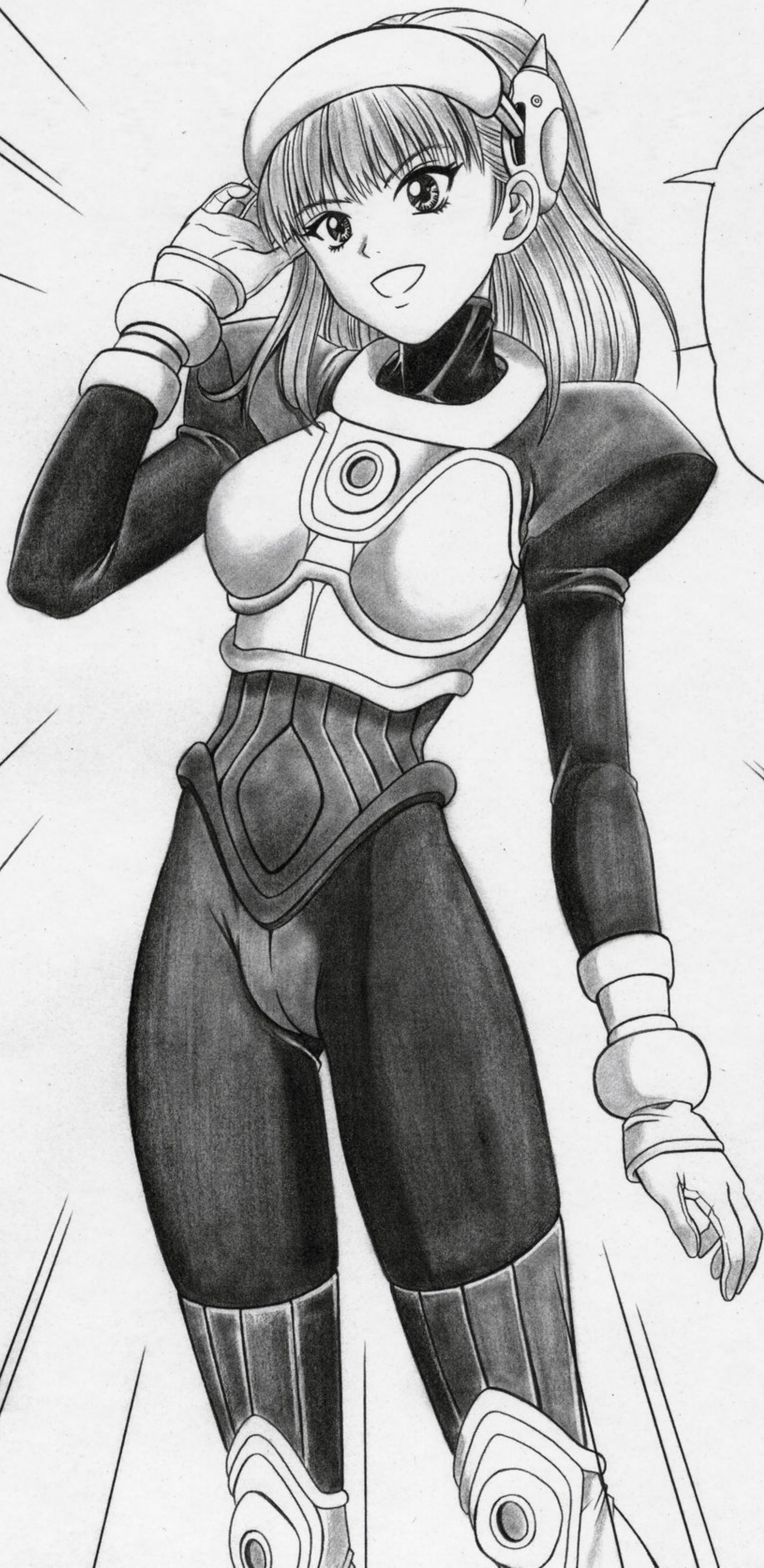


ええ…
まあ



なんだい
アンタ

あの女に
よっぽどの
因縁でも
あったのかい？



ちよつと
恋の恨みが

END

あとがき

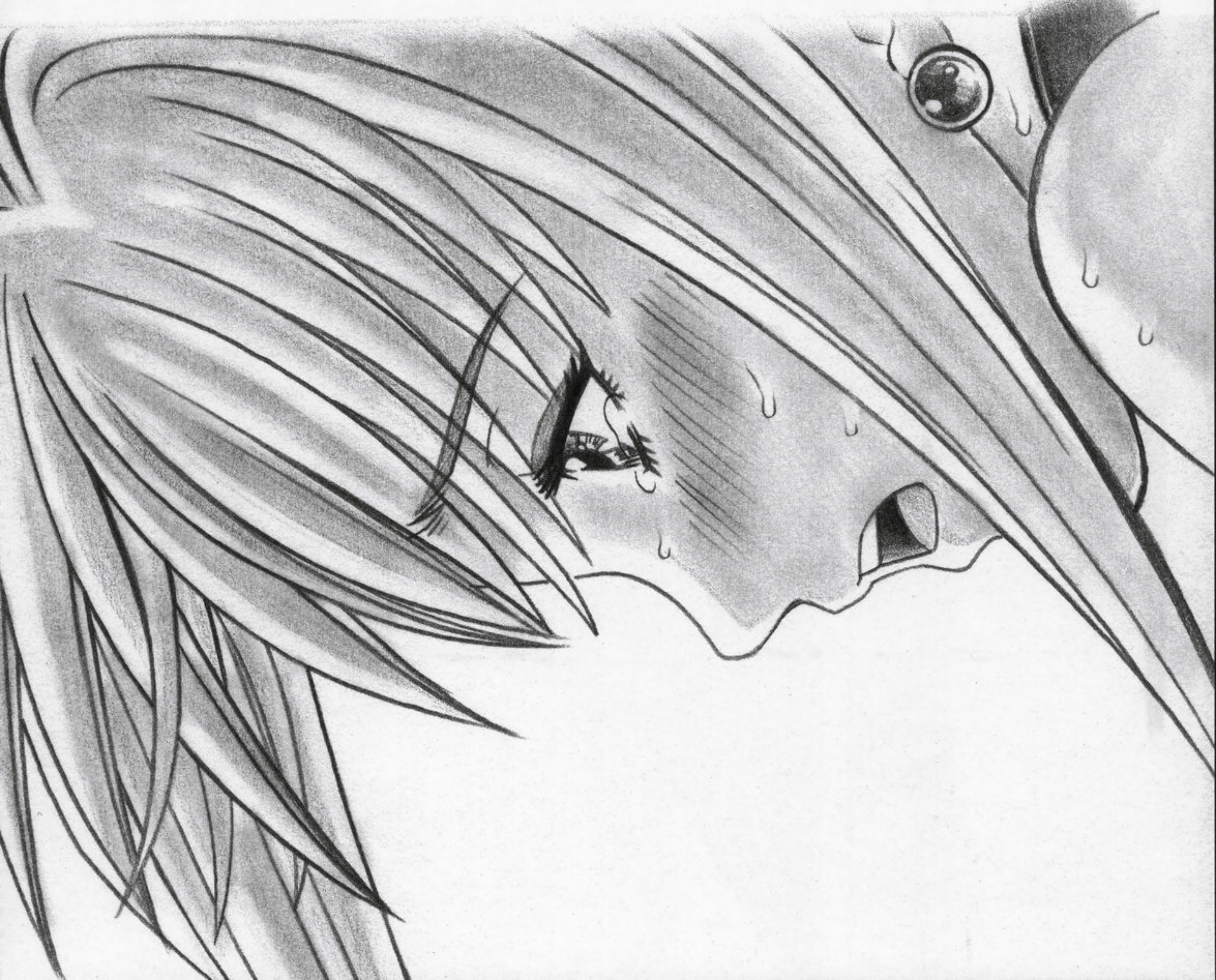
はじめまして&お久しぶりです。
去年はずっと同人誌のほうから離れていたため、今回の新刊はおよそ1年半ぶり……。

しかも、久しぶりの本づくりだというのに今までやったことの無いA4版型に鉛筆本ときたもので、実に迷ったりつまづいたりが多い新刊でした。

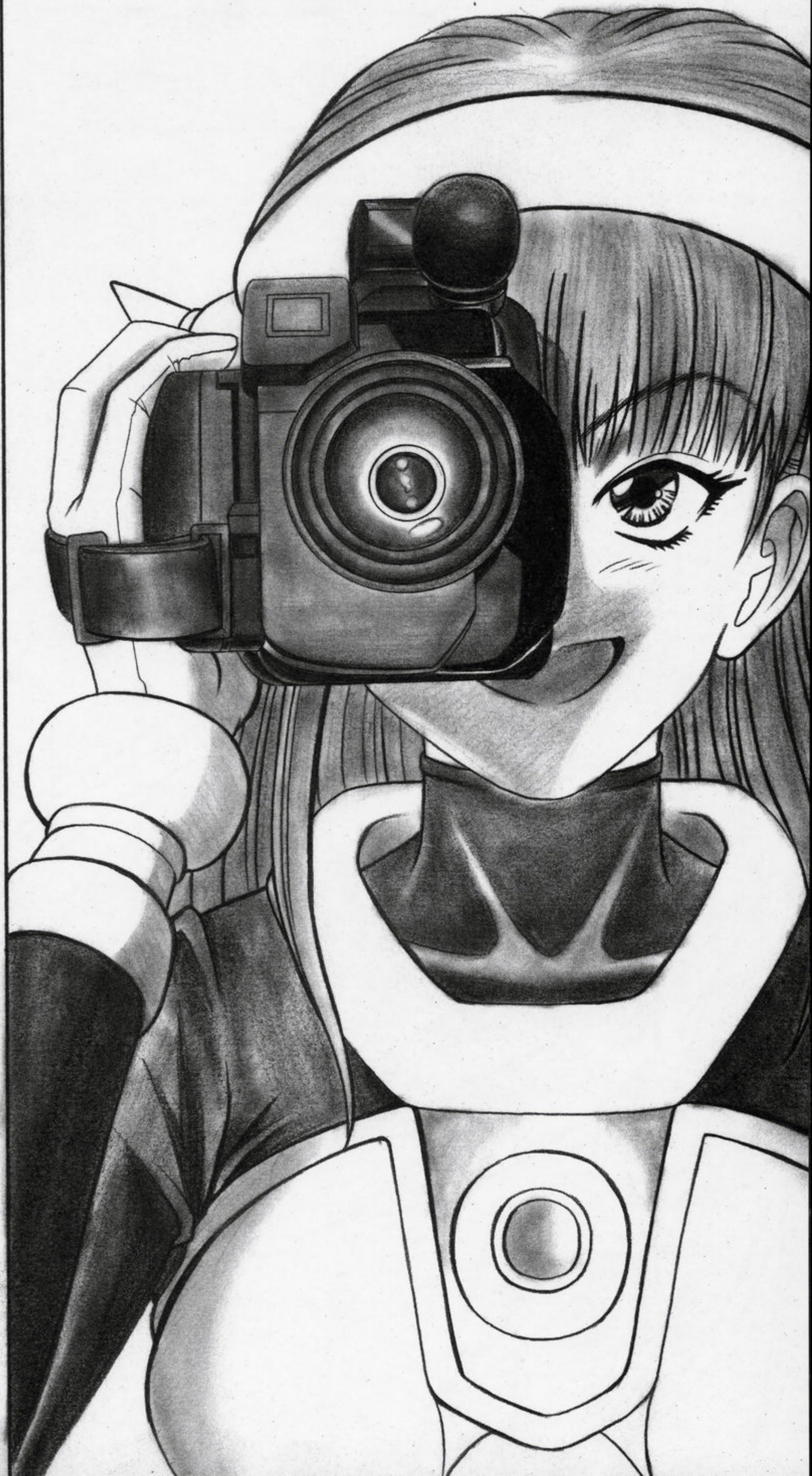
とりあえず今年はまだあと3冊ぐらい作れたらなと思ってますんで、巻末に表記してあるサークルサイトをチェックして頂けると幸いです。

それでは、短いですが今回はこれにて……。
このたびはサイクロンの本を読んで下さりまして、ありがとうございました。

サイクロン



おまけの一枚絵





更におまけの一枚絵



次刊予告

次はダイ大本になります。
進捗具合など、サークルの
ページでチェックして
頂けますと幸いです。



Rogue Spear 5 - ログスピア5 -

発行日：2006年06月10日

発行：サイクロン

印刷：株式会社ポプルス様

連絡先：webmaster2@cyclone.sakura.ne.jp

*乱丁・落丁のお取替え申請やお問い合わせ等につきましては、上記のメールをご利用下さいませ

*また、感想などを頂けましたら幸いです<m(_)_m>



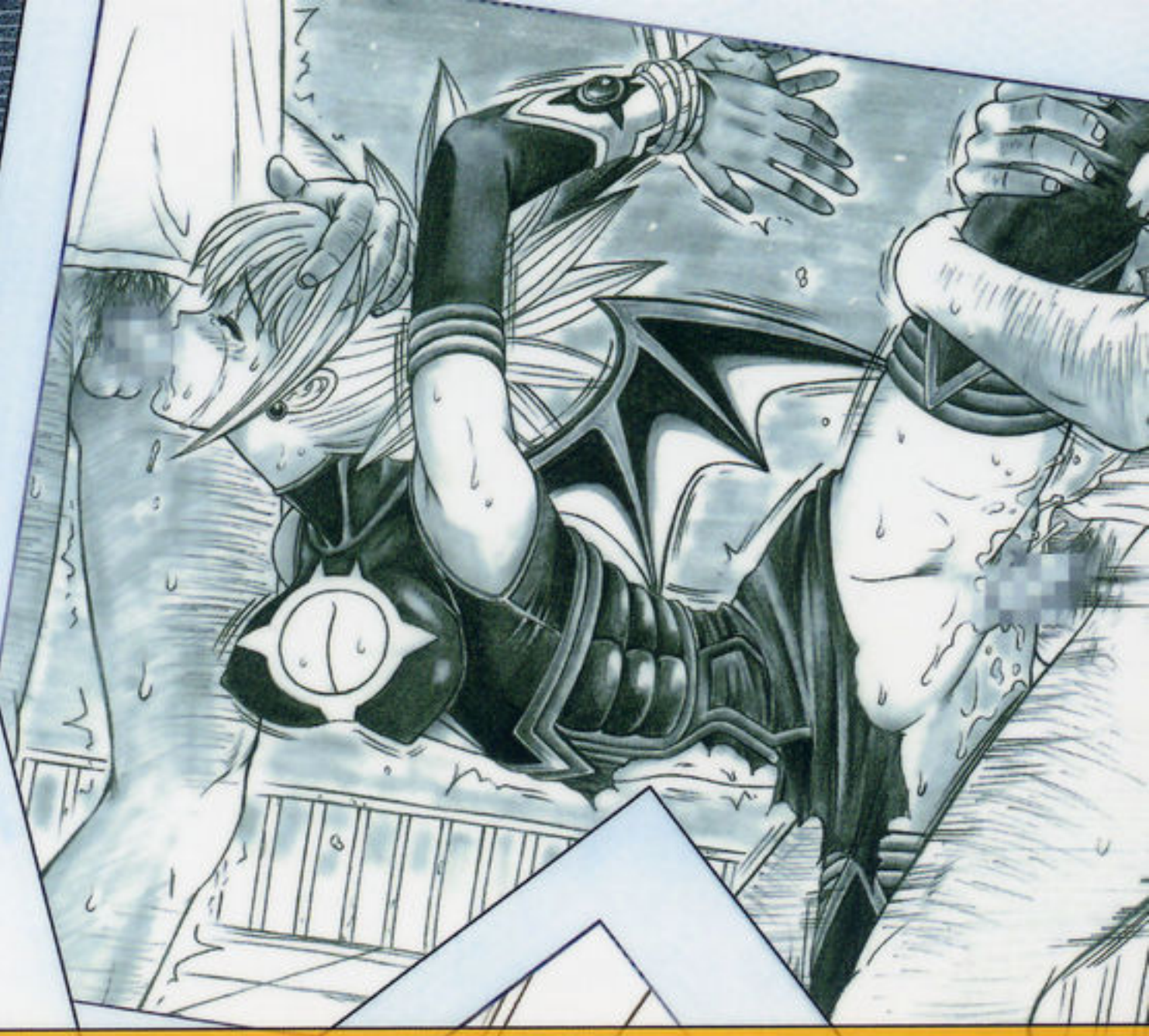
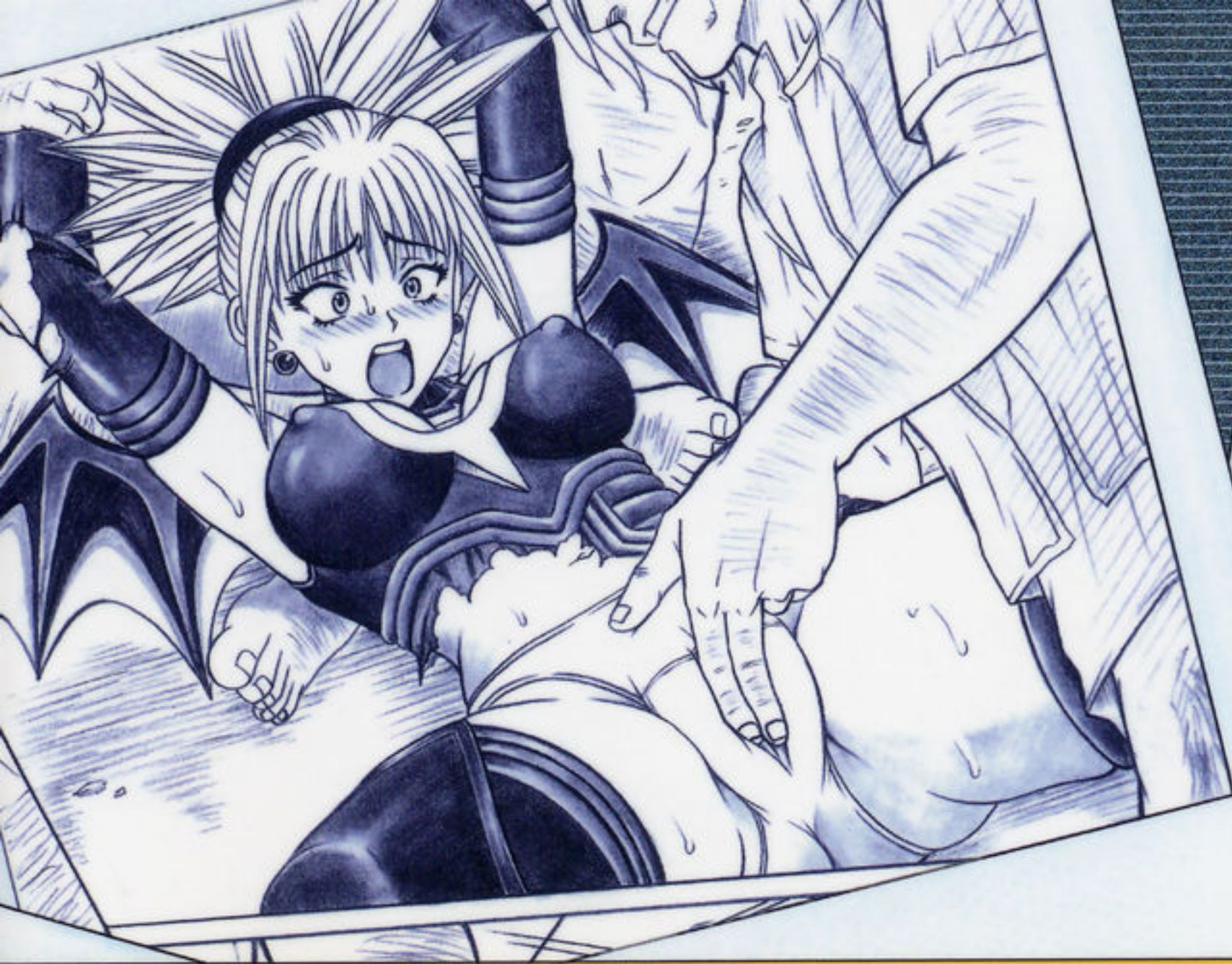
【注意】

この物語はフィクションです。実在の人物・団体・事件とは一切関係ありません。

また、この本を発行した事によって発生する全ての権利は放棄されておりませんので、申し訳ありませんがスキャン画像の無断掲載や共有ファイルとしての利用行為はご遠慮下さいませ。

なお本書籍は成人向けのため、18歳未満の方への頒布はお断りさせていただきます。

www.cyclone.sakura.ne.jp



www.cyclone.sakura.ne.jp



魔人との戦いで
力を使い果たした
ある日の夜……。
シャドウレディの身に、
災厄がふりかかった。

群がる薄汚い男たち—
汚された身体—
目覚めてしまう異常な性癖—

快感を覚えてしまった
シャドウレディからは、
次第にかつての勇ましが
失われていってしまい……

